

成蹊

中学・高等学校

2025

進学ガイドブック

SEIKI JUNIOR HIGH SCHOOL
SEIKI SENIOR HIGH SCHOOL



学校説明会・文化祭日程

中学校 学校説明会

要予約

- 第1回 6月 8日 (土)
- 第2回 10月 5日 (土)
- 第3回 11月 9日 (土)

受験生対象イベント

要予約

- 入試対策講座Ⅰ、入試対策講座Ⅱ ※小学6年生対象
 - 入試体験会 ※小学6年生対象
 - キャンパスツアー ※中学受験生対象・高校受験生対象
 - 授業体験、クラブ体験 ※小学5・6年生対象
 - オンラインイベント「桃Connect!」 ※中学受験生対象・高校受験生対象
- * 日程や詳細はホームページでお知らせします。

高等学校 学校説明会

要予約

- 第1回 6月22日 (土)
- 第2回 10月12日 (土)
- 第3回 11月30日 (土)

文化祭 (蹊祭)

要予約

9月28日 (土)・29日 (日) 9:00～16:00 (中高合同開催)

- * 両日とも10:00～15:00の予定で、個別質問コーナーを開設します。
- * 上履きと履物袋をご持参ください。

学校説明会等のイベントの詳細については、予告なく変更の可能性があります。
成蹊中学・高等学校のホームページをご覧ください。



募集要項の公開



(蹊祭) の1日目 (9月28日) から成蹊中学・高等学校のホームページで公開します。

目次

成蹊中学・高等学校
進学ガイドブック 2025

第1章 成蹊を知る

(1) 建学の精神	2
(2) 教育目標	2
(3) 成り立ち	2
(4) 国際学級、帰国生の受け入れと再受入れ制度	3

第2章 学習

(1) 学習の特色	4
(2) 6年間のカリキュラム	5
(3) 教科	6

第3章 国際理解教育

(1) 国際理解教育	12
(2) 留学制度	12

第4章 学校生活

(1) 時程表・時間割	15
(2) 年間行事	15
(3) 校内行事・校外体験行事	16
(4) スケジュール管理帳『日進月歩』	20
(5) クラブ活動	22

第5章 大学進学

(1) 成蹊高校の進路指導	24
(2) 成蹊大学内部推薦	24
(3) 他大学進学	24

第6章 中学入試

入試の概要、注意事項	28
(1) 一般入試	
① 一般入試	29
② 一般入試(帰国生枠)	33
(2) 国際学級入試(第1学年 4月入学)	34
(3) 中学2年生帰国生編入試	36
(4) 国際学級入試(第1学年 9月編入)	37

第7章 高校入試

入試の概要、注意事項	39
(1) 一般入試	40
(2) 推薦入試	43
(3) 帰国生入試	44
(4) 高等学校2年編入試	46

第8章 その他

(1) 年間にかかる費用	48
(2) 奨学金制度	49
(3) データ	49

第9章 Q & A

(1) 国際学級と帰国生の受け入れ	51
(2) 学習全般	51
(3) 学校生活全般	53
(4) 施設全般	54
(5) 防災関係	55
(6) 大学進学全般	56
(7) 入学試験	56

成蹊を知る

学習

国際理解教育

学校生活

大学進学

中学入試

高校入試

その他

Q & A

成蹊を知る

(1) 建学の精神

- 個性の尊重
- 品性の陶冶
- 勤労の実践

(2) 教育目標

本校は、「個性の尊重」「品性の陶冶」「勤労の実践」の三つの建学の精神に基づき、下記の教育目標を掲げ、自ら課題を発見し、解決できる「0 to 1」の発想が持てる人材の育成をめざしています。

■ 多様性を持ってグローバルに対応できる能力と個性の育成

本校では、グローバル化が進む国際社会に対応できるように、多様性を重視し、相手の異なった背景や文化を理解したうえで、「発信力」や「コミュニケーション力」を発揮できる能力を育成しています。そのうえ、世界に目を向けた力を育成するため、創立当初から帰国生の受け入れや長期・短期の留学、交流プログラムを行うなど、グローバル教育を充実させています。

■ 自立精神と自律的行動力を持って社会に貢献できる人材の育成

成蹊中高の一貫教育では、努力を積み重ね、自ら乗り越えていく仕組みを構築しています。創立時より、自分の考えで行動し自分自身を見つめる「自立」と、自らをコントロールする「自律」の二つの力を育て、地域・企業などと連携しながら、

主体性と協調性を養います。このように、社会との繋がりを意識し、誇りを持って実社会に貢献できる人間の育成を重視した人格教育を行っています。

■ リベラルアーツによる知的好奇心と物事の本質を見極める探究心の育成

本校では、授業での実験や観察、鑑賞行事や夏の学校・学習旅行など、体験を通じた学習を重視しています。これらの「本物に触れる」学習を通して、生徒達一人一人の「琴線に触れる」機会を数多く設定し、知的好奇心や科学的好奇心を育てています。また、早めに進路選択を確定することや、特定の目的に絞った学習をするのではなく、幅広い教養を身につける「リベラルアーツ」を実践しています。それに加え、物事の本質を見極める「探究学習」を行うことにより、自らの個性と資質をしっかりと自覚したうえで、進路決定をするカリキュラムを組んでいます。

(3) 成り立ち

■ 創立者・中村春二の教育への志「成蹊園」

[1906 (明治39) 年]

中村春二は本郷西片町に学生塾「成蹊園」を設立し、勉学の意欲がありながら経済的に恵まれない生徒たちを対象に、奨学金を与え、寝食を共にしながら学習できる環境をつくりました。

■ 成蹊実務学校を創立し全国から注目を浴びる

[1912 (明治45) 年]

岩崎小弥太 (三菱4代目社長)、今村繁三 (今村銀行2代目頭取) 両氏の賛助の下、東京池袋に成蹊実務学校が開校しました。成蹊学園では、この年を学園創立の年としています。その後、成蹊中学校、成蹊小学校、成蹊女学校、成蹊実業専門学校が次々に開校します。後に「大正自由教育運動」と呼ばれる活動が盛んになったこのころ、師弟の心が直接ふれあう人格教育を重視した成蹊教育の精神は全国で多くの賛同を得て、この精神は今も成蹊の中に生き続けています。

■ 英国のパブリックスクールを参考にした七年制高等学校の開校

[1925 (大正14) 年]

さらなる人材育成を目的として、旧制高等学校 (七年制) が現在の吉祥寺に開校しました。七年制高等学校は、旧制中学校と旧制高等学校の課程を7年間で教育するもので、当時、高等学校は第一高等学校などのナンバースクールをはじめ全国に40校ほどしかなく、私立では成蹊を含め現在の学習院・甲南・成城・武蔵の5校のみでした。寮も完備した一貫教育を受けた卒業生は、東京帝国大学をはじめ有力大学に進学し、社会で活躍する多くの人材が輩出されました。

■ 一貫教育の伝統を新制中学、新制高等学校に活かす

[1947 (昭和22) 年]

学制改革を受けて1947 (昭和22) 年に新制成蹊中学校が、翌年には新制成蹊高等学校が開校し、間もなく男女共学制も実施。その後、校舎を学園敷地の北側に移し、現在に至ります。卒業生たちは成蹊大学や国公立大学に進学し、社会で活躍しています。

(4) 国際学級、帰国生の受け入れと再受け入れ制度

■ 伝統の帰国生教育

成蹊学園の帰国生受け入れの伝統は、1935 (昭和10) 年に海外勤務者子女のために設けられた「操要分教場」(通称: 「操要学級」) に始まります。

その後、国の経済発展に伴い海外勤務者が増えたことを受け、成蹊中学校では全国に先駆けて1964年に国際特別学級(1995年国際学級と改称)を設置しました。当初は、帰国生指導専門の教員による指導が行われていましたが、その後、一般学級を指導していた多くの教員も担当することで、学校全体が帰国生指導の経験を積み重ねてきました。日本と異なる教育環境で育った帰国生を受け入れ、日本の学校への適応教育を行うために、現地校またはインターナショナル校出身者のみの受け入れとしています。

2008年度からは、中学2年への帰国生編入試も実施し、一般クラスへの混入を行っています。

■ 少人数教育による日本への適応

国際学級における大きな目的の一つは、日本への適応教育です。海外の教育環境は日本と異なるため、帰国後の学校生活に不安を感じる帰国生も少なくありません。国際学級では、そのような不安やギャップを解消し、日本の教育に早期になじんでいけるよう、15名という少人数で、一人ひとりきめ細かな指導を行っています。カリキュラムも日本への早期適応をめざし、国語に重点が置かれています。

■ 国際性・社会性を高め、国際人へ飛躍

国際学級の生徒たちは、さまざまな国、地域から帰国してきた仲間たちと海外での貴重な体験を共有し、国際感覚を高め合います。中学2年になると、全員が一般クラスへ移行します。移行後は、個別指導により、さらに個性に磨きをかけつつ、日本で育った仲間と共に過ごすことで社会性を高めていきます。このような経験により、将来国際舞台で活躍するための基礎が十分に出来上がります。海外で培ってきた積極的で伸びやかな発想は、一般クラスや部活動の中でも、他の生徒たちに大変良い影響を与えています。

■ 帰国生英語特設クラス

国際学級出身の生徒には、1年間の国際学級での授業後、中学2・3年では、帰国生向けの「帰国生英語特設クラス」で英語の授業が行われます。国際学級出身の希望者は、原則としてこのクラスに参加することができます。一般学級在籍の帰国生もしくは、それと同等の英語力を有する生徒および中学2年に編入学する帰国生については、参加判定のためのテストがあります。なお、このクラスの設置は中学のみとなります。

海外赴任が決まった場合は

再受け入れ制度

中学・高校在学中に、保護者の海外転勤のために生徒と一緒に海外へ渡るとは決して珍しいことではありません。そのような理由で退学して海外へ渡った場合、一定期間のうちに帰国する際に再受け入れできる制度が整っています。なお、再受け入れ制度は中高に1学期間以上在学した生徒を対象としています。

学 習

(1) 学習の特色

■ 世界に通用する教養

近年、多くの日本人が国際社会で活躍し、中には先端技術の分野で海外の人たちと共に仕事をしている人もいます。しかし先端技術を身につけているからといって、その国の文化も宗教も自然も分からずに良い仕事ができるでしょうか。

本校ではほとんどの科目を必修とし、しっかりとした幅広い教養を身につけるように指導することで、国際社会から信頼されるような人物を育成します。

■ 持てる時間は皆同じ

全ての人にとって1日は24時間しかありません。この決まった時間を上手に使える人ほど充実した人生を送ることができます。本校の指導の基本は「集中力」です。できる限り集中して授業に臨むことで授業以外の時間を自分の時間にすることができ、クラブ活動などに集中したり、家庭での役割も担ったりすることができるのです。また、学習における「自己管理」も大切にしていきたいことの一つです。そのため本校では、中学1年にスケジュール管理帳『日進月歩』(P.20)を配付し、毎日の学習管理・授業の課題・定期試験の学習計画などを自己管理できるように指導します。こうして優れた仕事、充実した趣味、豊かな家庭生活を実現できる大人へと成長していきます。

■ 自分で見いだす「主要科目」

本校には昔から「主要科目」という言葉がありません。これは全科目が主要であるとの考えに基づいています。言いかえると、それぞれの生徒が自らの進路に合わせて自分の「主要科目」を選んでいるのです。そこで、どの科目が「主要科目」に選ばれても対応できるように学校は体制を整えています。生徒は自分の「主要科目」を伸ばし、真の実力をもって将来を切り拓いていくことができるのです。

■ 個性を尊重した個別指導

学習指導や進路指導において個別指導を大切にしています。学習面でのつまずきや将来に対する不安など、皆一人ひとり違った悩みを抱えています。その悩みに対し、丁寧に、個性を尊重しつつ個別指導しています。その結果、自分に合った学習スタイルや将来の進路を発見することができるのです。

■ 幅広い人格で社会から認められる大人へ

中学でも高校でも、進路別によるホームルームクラス編成は行っていません。いろいろな入口から入った生徒が、同じホームルームで切磋琢磨しながら多様な進路をめざして日々努力を重ねています。この異業種交流のようなホームルームが、他者の個性を尊重できる幅広い人格を形成していくのです。

■ 「大器を志すならば急ぐな」

この言葉は、中村春二が当時の中学生に語った言葉です。本当の自分はまだ分からないような未熟な段階では、まず基礎を大切に将来の選択を焦らないようにと指導していたのでしょう。この精神は現在も受け継がれ、進路の選択は高校2年から緩やかにスタートします。高校2年では文系と理系のコースに分かれ、一部の科目が選択となり、高校3年では数多くの中から自分の進路に合ったコースを選択します。

■ カリキュラムの特徴

本校のカリキュラムは、具体的な内容から抽象的な内容へと移行していきます。導入期には芸術や技術・家庭など実際に体を動かし感性を育てる科目の時間数を多くし、理科の授業で実験観察を特に多く実施します。充実期には座学による内容の濃い必修科目によって学力を伸ばし、発展期では選択授業によって自らの進路へ進む力をつけさせます。また中学・高校の年代は、肉体的にも精神的にも大きく発達する時期なので、週3時間の保健体育の授業では心身の成長をサポートしています。

■ 時間割の特徴

2時間続きの授業が多いことが特徴です。これは体験型学習の充実を目的にしているからです。具体的には、全学年の体育、中学全学年の技術・家庭と高校2年の家庭、中学2年の美術と高校1年の芸術(選択)、高校2年の生物、高校3年理系の選択科目(理科)などで2時間続きの授業を実施しています。このように毎日の時間割のバランスを良くし、時間数の多い科目は毎日のように学習することで、確実な学力をつけていきます。

■ 導入期より行われる専門教員による学習

例えば理科では「物理・化学・生物・地学」、社会では「地理・歴史・公民」のように、それぞれの専門教員が教える学習形態がとられています。これはそれぞれの学問の面白さを導入段階から伝えることで、後の学習を系統立てて行うことを意図しているからです。

学問の面白さに触れることは、その後の進路選択にも大きく関わってくるのです。

■ 探究学習

発信力やコミュニケーション力などの非認知能力の育成が重要と考え、探究学習を推進しています。「なぜ?」から始まり、調べる→足を運ぶ→仮説を立てる→解決方法を話し合う→解決策を提示する→実証実験する→発表するというサイクルでロジック(論理)とレトリック(修辞)の力を伸ばします。

■ ICT教育

私たちは、これからの学校生活やその後の人生の中で、ICTを日常生活に上手に定着させ、安全に、責任をもって、他者を尊重する使い方を身につけていくことが求められます。入学者全員にICT端末をご用意いただき、授業や自宅学習、行事などのさまざまな場面での学びに活用しています。各教室にはプロジェクターや電子黒板も備えられており、教員からの資料の提示や、生徒の発表などに利用しています。

■ 高校からの入学生との切磋琢磨

高校から入学してくる生徒は、成蹊中学から進学する生徒と、高校1年から同じクラスに所属します。それぞれの得意なことを活かし、良き仲間、良きライバルとして切磋琢磨しながら、互いに良い刺激を与え合っています。

(2) 6年間のカリキュラム

時間数	中1	中1国際	中2	中3	高1	高2	高3	時間数
1								1
2	国語I	国語I	国語I	国語I	現代文	現代文 <small>論理国語</small>	現代文	2
3					<small>現代の国語</small>	地理総合	<small>論理国語</small>	3
4	国語II	国語II	国語II	国語II	古典	日本史	倫理	4
5					<small>言語文化</small>	<small>日本史*</small>		5
6	地理	地理	地理	地理	歴史総合	生物		6
7						<small>生物基礎</small>		7
8	歴史	歴史	歴史	公民	公共		英語1	8
9							<small>英語コミュニケーションII</small>	9
10	数学α	数学α	数学α	数学α	数学α ^{※1}	英語1	英語2	10
11					<small>数学I, 数学A</small>	<small>英語コミュニケーションII</small>	<small>論理・表現III</small>	11
12	数学β	数学β	数学β	数学β	数学β	英語2	体育	12
13						<small>論理・表現II</small>		13
14	生物	生物	物理	生物	数学I, 数学A	家庭		14
15						<small>家庭基礎</small>		15
16	地学	地学	化学	化学	物理	体育		16
17					<small>物理基礎</small>			17
18	英語	英語	英語I	英語I	化学	保健		18
19					<small>化学基礎</small>			19
20			英語II	英語II	英語1			20
21			音楽	音楽	<small>英語コミュニケーションI</small>			21
22	音楽	音楽	美術	美術	英語2			22
23					<small>論理・表現I</small>			23
24	美術	美術	書道	書道	芸術 ^{※2}	必修選択		24
25								25
26	書道	書道	技術家庭	技術家庭	情報 ^{情報I}			26
27								27
28	技術家庭	技術家庭	技術家庭	技術家庭	体育			28
29								29
30	保健体育	保健体育	保健体育	保健体育				30
31								31
32	桃李 ^{道徳}	桃李 ^{道徳}	桃李 ^{道徳}	桃李 ^{道徳}	保健			32
33								33
34	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	34

※1 高1数学αは、高校からの入学者は週4時間となります。
 ※2 高1芸術(必修選択)は「音楽」「美術」「工芸デザイン」「書道」の中から1つを選択します。
 *印は学校認定科目です。

高校2年次〈必修選択〉

高校2年次では「文系」「理系」いずれかのコースを選択します。

時間数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
文系	古文	漢文	世界史	数学α	数学β	地学							
	<small>古典探究</small>		<small>世界史*</small>	<small>数学I, 数学B</small>	<small>数学I, 数学B</small>	<small>地学基礎</small>							
理系	古典	数学α	数学β	物理	化学								
	<small>古典探究*</small>	<small>数学I, 数学B</small>	<small>数学I, 数学B</small>	<small>物理総合*</small>	<small>化学総合*</small>								

*印は学校認定科目です。

高校3年次〈選択コース〉

高校3年次では、次の表内からコースを1つ選択します。

文系 他大学受験向け

時間数	時間数													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	古文	漢文	数学α	数学β	政治経済	日本史								
	<small>古典探究</small>		<small>数学I, 数学B</small>	<small>数学I, 数学B</small>	<small>政治・経済</small>	<small>日本史探究</small>								
2	古文	漢文	数学α	数学β	政治経済	世界史								
	<small>古典探究</small>		<small>数学I, 数学B</small>	<small>数学I, 数学B</small>	<small>政治・経済</small>	<small>世界史探究</small>								
3	古文	漢文	数学α	数学β	政治経済									
	<small>古典探究</small>		<small>数学I, 数学B</small>	<small>数学I, 数学B</small>	<small>政治・経済</small>									
4	古文	漢文	政治経済	日本史										
	<small>古典探究</small>		<small>政治・経済</small>	<small>日本史探究</small>										
5	古文	漢文	政治経済	世界史										
	<small>古典探究</small>		<small>政治・経済</small>	<small>世界史探究</small>										

文系 成蹊大学内部推薦, その他向け

時間数	時間数											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
6	古文	漢文	政治経済	日本史								
	<small>古典探究</small>		<small>政治・経済</small>	<small>日本史探究</small>								
7	古文	漢文	政治経済	世界史								
	<small>古典探究</small>		<small>政治・経済</small>	<small>世界史探究</small>								
8	古文	漢文	数学	政治経済	日本史							
	<small>古典探究</small>		<small>微分積分基礎*</small>	<small>政治・経済</small>	<small>日本史探究</small>							
9	古文	漢文	数学α	政治経済	世界史							
	<small>古典探究</small>		<small>微分積分基礎*</small>	<small>政治・経済</small>	<small>世界史探究</small>							

*印は学校認定科目です。

理系

時間数	時間数																	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
10	数学α	数学β	物理	化学														
	<small>数学II</small>	<small>数学C</small>																
11	数学α	数学β	生物	化学														
	<small>数学II</small>	<small>数学C</small>																
12	数学α	数学β	物理															
	<small>数学II</small>	<small>数学C</small>																
13	数学α	数学β	化学															
	<small>数学II</small>	<small>数学C</small>																
14	数学α	数学β	生物															
	<small>数学II</small>	<small>数学C</small>																
15	数学α	数学β	物理															
	<small>数学II, 数学B</small>	<small>数学I, 数学B</small>																
16	数学α	数学β	物理	化学														
	<small>数学II, 数学B</small>	<small>数学I, 数学B</small>																
17	数学α	数学β	化学															
	<small>数学II, 数学B</small>	<small>数学I, 数学B</small>																
18	数学α	数学β	生物															
	<small>数学II, 数学B</small>	<small>数学I, 数学B</small>																
19	数学α	数学β	生物	化学														
	<small>数学II, 数学B</small>	<small>数学I, 数学B</small>																

(3) 教科

国語

全教科の基礎となる教科としてとらえています。基本的な国語力を身につけることで、深く正確に文章を理解し、文章で表現する力はもちろん、発表・ディベートなどを通して、より広い表現力、人と人とのコミュニケーション力などの育成を図ります。理解し、考え、表現する力を身につけた、社会で幅広く活躍できる人材の育成をめざしています。

【中学】

「国語Ⅰ」「国語Ⅱ」に分け、授業担当教員を分けています。「国語Ⅰ」では文章の正確な読解を中心とする学習、「国語Ⅱ」では読書や調査などをもとに考え、表現する力と口語文法・文語文法を学習します。

「国語Ⅰ」では、漢字ノートを作成し毎週1回提出し、漢字テストを行っています。きちんとした整った文字を書くことを通して基礎力を養い、言葉の力をつけることをめざしています。また、オリジナルテキスト『古典入門』を用いて、広く知られている平易な古典作品に触れ、古典に慣れ親しみ、高校でのより深い学習のためのステップとしています。

「国語Ⅱ」では、長期休みに読書を課題とし、感想文を書きます。各クラスから選ばれた優秀作品は感想文集に掲載されます。また、3年生で行う修学旅行の事前学習も「国語Ⅱ」で行います。見学するさまざまな対象について、調べ、まとめて発表することによってより深い興味と理解を得ます。

【高校】

「現代文」「古典」に分かれています。「現代文」では、2年生の前半までの間で、中学段階で学んだ読解力を充実させ、しっかりとした論理的思考を確立できるようにし、後半からはそれをもとにして、自分自身の作品論を組み立てるところまで発展させていくことをめざします。

2年生の「現代文」では、夏目漱石の『こころ』を全読して、より深い作品理解を行っています。文学作品や評論を通じ、社会や他者・自己に関する考えを深める機会を与えています。

「古典」では、文法や単語、古文常識などの基本的な学習から始め、順次作品の内容をより深く鑑賞できるようにし、2・3年生では、それぞれの進路に合わせたコースに分かれ、それぞれの必要に合わせた力をつけていくことをめざします。

感性を養う作文指導

中学では、思考力・表現力を養うため、夏休みの課題図書に対する感想文の提出を課しています。その中から優れた作品を、『読書する中学生のために』として刊行しており、取り上げられた作品のレベルの高さが学内外で高く評価されています。

高校では、高い次元の作品論の作成を目指します。そのため多くの文学作品を読み込み、「自分の考えを、説得力を持って他者に伝える」ことを目的とした授業・活動を行なっています。

社会

本校には知的好奇心旺盛な生徒が多く、そんな彼らがときに教科書的な説明を超えたレベルで納得したいと考えているのは偶然ではないと考えます。社会科教員は多様な観点から準備を積み、生徒たちの要求を上回る内容と個性を備えた授業を意識しています。

【中学】

授業は「地理(1・2年)」「歴史(1～3年)」「公民(3年)」に分かれ、ここでは、過去と現在の社会の姿や問題のあり方を、ただ「知る」だけでなく、それを「考える」ことが重視されます。授業で得た知識をいかに体系的に整理し、考えるための情報にしていくかということも中学の段階で学んでいくこととなります。

【高校】

全科目必修に近いカリキュラムを意識しています。大学受験から実社会に至るまで、これまでもままして、広くバランスのとれた社会科学的知識・教養と多様な観点が不可欠と考えるからです。

「歴史総合」については、現在との対話につながるようなテーマ史や世界と「ここ」を結びつけるような地域史などを学びます。「世界史」「日本史」については、1・2年生の間に近現代についての理解を深めます。世界史では、今ある世界がどのように今ある世界になってきたのか、ということを行います。日本史は、国際関係も意識しつつ「わたしたち」と「わたしたちの社会」の成り立ちを問います。「地理総合」では、具体的事実を科学として抽象化するなど、社会科学の基礎を学びます。また、社会の仕組みを、自然との関係(資源、環境、災害など)から考え、空間的観点から地域格差や国際関係のあり方を考えます。

公民分野では、現代社会の課題を多角的、構造的に把握し、向き合うことを重視します。「公共」は、平和で民主的な社会を形成していくための思考力を、「倫理」では哲学・思想の歴史をベースに、思考・理解の幅を広げ、原理的・理念的に課題を捉え直す力を重視します。「政治経済」では、現代社会のしくみを学習、考察することとなります。

多様な進路に対応

高校3年次には、成蹊大学内部推薦コース、私立大学受験コース、国公立大学受験コースが設置され、生徒自身が希望する進路に照らして科目とコースを組み合わせていきます。通常時間外に演習も用意されています。

英語だけでいっぱいなのに、こんなにやらなければならないの?—そんなふう思うかもしれませんが、でも、歴史と社会、知識と思考のつぼの中にこそ、何かをやらされている状態から、何かをやってみよう、いや、やろう—ということになるカギがあるので、わたしたちは、そんなふう考えています。

数 学

数学の本質を理解すること。また、将来どの分野に進むにも十分な数学の力をつけることが目標です。

【中学】

数学の科目として「数学α」と「数学β」を設置しています。検定教科書をベースにしていますが、教科書にはない一歩踏み込んだ内容も多く扱います。そのため、中高一貫テキストを使用して授業を行います。

「数学α」では基本的な計算問題を扱いつつも、その計算の裏にある仕組みをしっかりと理解した上で問題が解けるように指導します。「数学β」では、主に図形を題材にして数多くの証明問題を扱い、論理的思考力を身につけます。このように、数学の力をつけるのに十分な学習内容となっています。

各学年週5～6時間という授業時間が確保されています。学校指定の問題集を配布し、問題演習に多く取り組むことで、知識の定着を図っています。これにより、授業とこれに沿った家庭学習をするだけで、高校の数学の基礎固めがしっかりとできます。また授業担当者は、担任と協力しノート添削を、成績の振るわない生徒に対しては個人面接・個人の補習などを、数学の得意な生徒には数学オリンピックレベルの問題を出すなど、きめ細かい対応により、一人ひとりの学力が確実に向上するよう指導しています。

【高校】

内容は、文部科学省の学習指導要領に沿っていますが、論理的・体系的な理解を重視し、必ずしも教科書の順番にはこだわらず、本校独自の順序で学習します。また、説明プリント・問題プリントを数多く利用し、深い理解の手助けとしています。1年生では、高校数学の基礎を学びます。高校から入学した生徒と内部進学生とは、1年次のみ別クラスで授業が行われ、高校からの入学生は内部進学生より週1時間多くなっています。これは内部進学生との既習内容の差異によるものです。2年生では文理別分割授業により、文系は余裕を持って授業時間を設けることができ、理系は数Ⅲを早い段階で履修できます。さらに3年生では、各自の希望する進路に合わせたカリキュラムにより、外部大学への受験希望者、成蹊大学の推薦希望者それぞれに対応する数多くのコースを設置しています。

演習の設置

高校では、2年生から週1日2時間、7、8時限目を利用して、自由選択科目の演習の時間を設けています。ここでは大学入試レベルの発展的、実践的な問題を取りあげて、各大学の入試問題、共通テストに対応する指導の場としています。

理 科

伝統的に、以下の考え方を大切にしてきました。

- ・全ての分野の自然科学の基礎を、全ての生徒が身につける。
- ・実物を観察したり、実際に実験を積み重ねたりして、自然の仕組みやつくりを理解する。

また、長く続けられている気象観測や生物（高校）の遺伝についてのオリジナル教材などに見られるように、理科の基礎についてより深く学習できる工夫を凝らしています。

【中学】

「理科」を4つの科目に分け、それぞれを専門とする教員が授業を担当しています。これにより、小学校の内容をもとに、各分野をより深く掘り下げて自然科学の基礎を身につけることをめざしています。さらに、中学生の好奇心に応え、校内の豊かな自然や長年にわたって収集してきた実物の標本、自作のプリントを活用するなど、既存の教科書だけに頼らない授業が展開されています。特に実験・観察を重視し、校内の植物の観察をはじめ、理科教育のための施設・理科館での本格的な実験をもとに、「物理」「化学」「生物」「地学」の授業を進めていきます。

毎年、各学年の希望者が参加して、天体観測や化石の採集などの野外観察会も行われます。

【高校】

生徒たちがさまざまな進路に進むことを踏まえながらも、中学の内容を基礎に、可能な限りもう一度「理科」の全科目について何らかの形で触れることができるカリキュラムになっています。特に2年生からの理系コースでは、進路に合わせてさらに深く学習できるように、充実した内容と十分な時間を確保しています。「物理」「化学」「生物」は、3年間で8～9時間の授業時間数を持ち、実験観察や演習に力を入れています。また、3年生の理系コースにおいては、生徒が受験で必要とする理科の科目(1科目または2科目)を細かく選択できるように、5種のコースが設置されています。

施設・スタッフ

理科の授業は全て、理科教員が設計に携わった理科専用の校舎「理科館」で行います。講義室、実験室計11室を擁しており、それらは「物理」「化学」「生物」「地学」の各科目の目的に応じた配慮がなされています。

また、教員の他に計7名の実験実習助手が授業の準備に携わり、教員だけでは実施が難しい実験・観察も行っていきます。

外国語

【中学】

基礎・基本を徹底的に重視します。まず「発音」です。日本語にない「音」のつくり方、つまり口の動かし方を丁寧に指導します。これから英語の正しい発音を習得しようと考えている生徒も、この段階で「一生もの」の英語の発音を身につけることができます。また、1年生から外国人教員（英語ネイティブ・スピーカー）による授業を実施しており、楽しく英語に触れながら英語を聞く耳（リスニング力）の基礎をつくります。2・3年生においても、日本人教員による授業と外国人教員による授業を通して、理解したり練習したりという経験を積んでいきます。どの授業においても生徒も教員もたくさん英語を話すことで「英語は使いながら身につける」という姿勢を大事にしています。3年間を通じて、聞くこと・話すこと・読むこと・書くことといったコミュニケーション能力の基礎をしっかりと固めます。

【帰国生】

成蹊中学校に入学する生徒の中には、海外の小学校で英語を学習した経験がある生徒もいます。そのため、帰国生向けの授業を行うクラスを設置しています。これらのクラスも外国人教員と日本人教員が担当しますが、海外で英語による授業を受けてきたことを前提とした授業を行います。

1年国際学級の生徒は他の教科と同様に、クラス単位で授業を受けます。1年一般学級に所属する帰国生は、英語授業時のみ帰国生を集めたクラス（さくら）で、授業を受けます。2・3年では全員、一般学級に所属しますが、英語授業については、希望選抜制の「帰国生英語特設クラス」を編成し、授業を行います。

【高校】

英語は3年間、必修6時間（週）を4時間・2時間に分割し、それぞれの担当者の指導を受けます。4技能の習得を目指し、1・2年生では外国人教員と日本人教員の「協同授業（チーム・ティーチング）」が週1回行われます。成蹊高校に入学する生徒は、小・中学校での英語授業、海外滞在経験など学習歴に個人差があり習熟度に個人差が生じています。そこで本校では伝統的に、個人の学力を大切に伸ばすことを主眼に、1年生から、多様な学力に対応した「グレード別（習熟度別）」のクラス編成を行っています。また、大学進学、将来の進路を見据え、1・2年生は全員英語資格試験を校内で受検することになっています。また、希望者のための英検校内受検も実施しています。

さらに2・3年生の演習科目では外国人教員による帰国生向け英語「アドバンスト・イングリッシュ」、基礎英会話「オーラル・イングリッシュ」を選択し、英語の使用を通じた実践的な学習を進めることができます。また、第二外国語（中国語、フ

ランス語、ドイツ語、朝鮮・韓国語）を選択することもできます。（10名以上で成立）

課外授業として、国際教育部主催の「TOEFL/IELTS講座」、「上級TOEFL講座」「海外大学準備講座」「アカデミックスキル講座」なども受講できるようになっています。これらの講座を通じて、高校での留学準備、海外大学への進学準備に取り組んでいる生徒もいます。

【クラス編成】

中学1年の英語授業は、学習経験別に授業編成を行っています。一般学級は①成蹊小学校出身者（けやき）、②中学からの成蹊入学者（もも）、③帰国生（さくら）に分かれて、授業を行います。③「さくら」は、海外の小学校（現地校・インターナショナル校）で学んだ経験がある生徒が対象です。国際学級はクラス単位で授業を行います。

中学2・3年生の英語授業は、一般学級でのホームルームを2分割にして少人数で授業を行います。国際学級は中学2年から一般学級へ移行しますが、英語は国際学級や「さくら」に在籍していた生徒を中心とした「帰国生英語特設クラス」で授業を行います。希望した生徒を選抜して、クラス編成します。

高校1年は2グレード、高校2・3年は3グレードの習熟度に分かれて授業を行います。

クラス編成

中1	①もも (7)	②けやき (6)	③さくら (1)	国際学級 (1)
中2	一般学級 (11～12)			帰国生特設英語 (2～3)
中3	一般学級 (11～12)			帰国生特設英語 (2～3)

高1	グレード1 (8)		グレード2 (4)
高2	グレード1 (4)	グレード2 (4)	グレード3 (4)
高3	グレード1 (4)	グレード2 (4)	グレード3 (4)

*カッコ内の数字は、各学年の開設クラス数

音楽

正統的な美意識に裏付けられた音楽性を育み、自己を表現するためのさまざまな技術を習得することをめざしています。一般に情操教育といわれますが、音楽という芸術を通じて、美を発見し、感動を仲間と共有する心の触れ合い、また、難度の高い芸術表現に挑戦する気持ちを引き出していきたいと考えています。具体的には、曲を音符通り正確に演奏するのももちろんのこと、より美しい響きを理想として追求するための技術、奏法などを工夫するように繰り返し練習します。

【中学】

中学では、ギター演奏を取り入れています。一人ひとりにギターを割り当てます。学校の音楽教育にギター演奏を採用するのは珍しいことですが、その理論的正しさと教育的有効性については、作曲家の故・服部克久氏（高1955年卒）も高く評価するところです。

【高校】

選択科目の一つとして履修する1年生では、弦楽器（ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス）を中心としたオーケストラの実習を取り入れています。発音や音程のコントロールが難しい分、感覚を研ぎ澄まして上達していく手ごたえも確かなものとなり、初めて楽器を触る生徒も1年の終わりには本格的な弦楽器合奏曲を演奏できるように練習を積んでいきます。

2・3年生の演習では、ICT端末を利用して音楽制作ソフトウェアによる作曲を行っています。実際には演奏できない楽器や音源も、ソフトウェア上で再生して確かめながら音楽の構成を考えていくことで、普段から親しんでいる身近な音楽の構造や細部の魅力の再発見にもつながります。

施設・その他

施設としては、防音と空調設備を備えた音楽室が2室（いずれもステージ付き）とピアノ練習室があります。また、合奏用器材、ギター 60台のほか、生徒が思う存分音楽活動をできるように各種の十分な器材を用意しています。

卒業後に音楽大学へ進学を希望する生徒には個別の相談に応じており、音楽の分野で活躍する卒業生も輩出しています。服部隆之氏、サキソフーン奏者の本多俊之氏、雅楽師の東儀秀樹氏のほか、若手ではジャズトランペッターの市原ひかり氏の活躍が話題になっています。

美術・技術／工芸デザイン

美術・技術の特徴的なところは、「美術」と「技術」が一体化していることです。授業自体は別々の時間割を組んでいますが、この両科目を「造形」という領域でとらえ、有機的に結びつけた授業が行われています。芸術表現としての制作行為と、技術における製作行為は違うものと思われがちですが、人間は長い歴史の中で「つくる」という行為そのものを通してさまざまな文化、美的世界を創造してきました。中学の美術と技術、高校の美術と工芸デザインの授業においても、この「造形」という行為を通して自己表現をすることをとても大切にしています。

【中学】

美術の授業では3年間に、絵画、デザイン、版画、彫塑など、さまざまな分野での制作を行います。各分野での制作を通して、生徒一人ひとりのひらめきを大事にし、想像したり、構想を練ったり、計画していく力がつくよう考えています。創造する過程での楽しさや、具体的な作品として出来上がった喜びや感動を味わうための、基本的な表現力を体得し、自己表現ができるように授業が考えられています。

技術は、3年間を通じて「ものづくり」をテーマにしていますが、いわゆるキットのような「組み立てれば済む」という教材は使いません。ものづくりには設計と製作の2つの過程が必要となりますが、中学ではそれらの基本を学びます。設計では代表的な製図法を学び、形の正確な把握と表現する力を身につけ、製作においては私たちの日常生活と関わり深い木材を材料として用い、代表的な加工方法、道具の使い方を学びます。また、キットではない製作のため、作品の自由度が高く、デザインすることを通して多くの生徒が工夫をすることの楽しさを学んでいきます。

【高校】

高校の美術は、絵画では中学で学んだ水彩だけでなく油彩、アクリル、日本画と表現材料の幅が広がります。高価な日本画の材料を使つての授業は、本物に触れる成蹊教育ならではのことで、版画も銅版のほか、木版は多版多色刷りになり、手が込んできます。

工芸デザインでは、平面作品として色彩学、色面構成を学び文化祭のポスターの制作や、ロゴマークなどをデザインします。立体作品としては、製図から製作までを通して椅子を作るために丸のご盤、かんな盤、ボール盤、角のみ盤、ルーターマシンなどの機械類も使います。また、手びねり、紐作り、板作りから始まって本格的な轆轤成形による作陶も行います。

書道

成蹊の書道は故・上條信山^{かみじょうしんざん}(文化功労者)の書風を正統に継承し、その評価が確立されています。上條先生は昭和の初期より長く成蹊で教鞭をとられ、戦後の日本における書道教育の復活に尽力されました。本校では今日も教材の多くに上條先生の作品を使用しています。

授業は、中学においても国語科の一領域としての「書写」ではなく、自己を表現するための「芸術」に位置づけています。「書く」という行為を通し、集中力を高めるとともに、沈着な態度や、ものを丁寧に扱う姿勢などを身につけます。技術に偏ることなく、書道の深淵を理解する知識、さらに成蹊人としてふさわしい見識と教養を身につけ、人間性を高める努力を要求しています。

【中学】

文字を書くことが苦手な人もいるかと思いますが、文字を正しく、整えて書くためには、文字の成り立っている構造、形づくられている原理を理解することが大切です。この基礎の部分を固めた上で、自分らしい文字を書くことができるよう、意欲的に授業に取り組むように指導しています。

1年生では、楷書の基本点画の習得に重点を置いて指導しています。また、2年生では、行書の基本的な技術の習得および習熟を図っています。

硬筆(ペン習字)については、2年間にわたり自宅学習を中心として、週1回の提出を義務づけています。

【高校】

中学で習得した書写の技術を踏まえて、芸術科の「書道」として、さらに幅広い表現技術を身につけていきます。

表現課題

中学2年では、文字を「造型」する授業を行っています。これは速度・筆圧・濃淡・潤濁・線の長短・細太などを工夫して、テーマに合った作品を制作するものです。個人作品の他に一致協力して「合作」も行っています。

保健体育

成長期であるこの時期に、知ること(運動・健康・安全についての知識と理解)と、運動すること(積極的に運動に親しむこと)により、「心身の健全な発達」と、「生涯にわたりスポーツに親しむ態度」を育てることを目標としています。

授業では、各発達段階に応じた種目を設定し、体力・技術の向上をめざしながら、積極的に参加しているかなど、参加態度も重視します。苦手意識を持つ生徒も友達と助け合い、精一杯努力すること、けがや体調不良など、見学しなければならない場合も、可能な範囲で準備や片付け、審判、記録などサポート役となり参加をすること、皆で協力してスポーツを楽しむことができる態度を育てます。

【中学】

「走る力」「跳ぶ力」「投げる力」といった基本的な運動能力を中心にさまざまな運動を行うことで、運動能力全般を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことをめざします。また、運動を通して、公正、協力、責任などの態度も育てます。

【高校】

中学までに体得した総合運動能力を発展させ、生徒自らが運動に主体的に取り組む姿勢、生涯にわたってスポーツを楽しむ心がけを育てます。

豊富な運動施設

運動施設は大変充実しており、中高の専用グラウンド、テニスコート、体育館(2棟)の他、学園全体の施設として、けやきグラウンド(400m競技場・ラグビー場)、野球場、サッカー場、テニスコート、柔道場、2つのプール、その他がキャンパス内に広がっています。

▶ホームページ内の「キャンパスマップ」でも紹介しています。



探究学習

2022年度より三菱みらい育成財団の助成事業に採択され、より一層、探究学習を推進しています。学年全体でのPBL(Project Based Learning)では、「桃李」(中1～中3道徳)、「学習旅行×探究」(高1)、家庭科のテーマ学習(高2)があります。希望者参加型では、①企業連携PBL(商品ラベルの作成等)、②SDGsの取り組み(けやき循環プロジェクト等)、③スタートアップ(SEIKEI STARTUP CAMP in GOTO等)の3つの柱で多くのプログラムを行っています。

家 庭

生活を学びの対象としている教科です。生徒の現実の生活がどのように成り立っているかを学び、それを土台に将来の生活を豊かに創造できる市民としての力を育てることを目標としています。理論だけを詰め込むのではなく、多くの体験を積み重ね、学び、生きた力をつけることをめざしています。成蹊の自然豊かな環境を活かし、成蹊の敷地で育つ筍や梅、銀杏、くるみなど身近な食材を使って調理実習をしています。

【中学】

食生活を食品の科学的視点から学習し、豊かな食生活を自分の手でつくり出せる実践力を育てます。学習方法としては、学校と家庭が連携して、生徒に実践の喜びを体感してもらいます。例えば、成蹊の敷地内で採った筍から筍ごはんを作ったり、鱈を一人一尾さばくなどの実践をしています。

衣生活については、自分の体を包むものとしてハーフパンツづくりを男女とも行います。体の形に合わせる型紙作りから始まり、布選び、製作と計画的に物事に取り組み、一つの作品を仕上げていく力を育てます。創意工夫して完成させた達成感は、大きな喜びを与えています。

また、消費者の問題を学習する中で、最後に地球に優しい生き方をまとめます。理想ばかり掲げるのではなく、中学生として何ができるかを発表し、友達同士で意見交換をすることで、もの見方を広げ、実践へとつなげていきます。

【高校】

自分の生き方を模索していく高校の段階では、家庭科の視点でものの見方、考え方を学習します。例えば、「家族・家庭の問題」「新しい命を生み育てる」「子どもが育つ環境について」「今日の食生活の問題」「日本の食糧問題」など、生徒の将来に大きく関わるテーマを学んでいきます。そのことは、現在の自分を見つめ、将来の自分と社会の関わりについて考えることになります。考えたことはグループ毎のテーマ学習やレポートの記述を通して論理的に表現する力を身につけます。

また、2・3年生の演習科目には家庭科演習があります。この授業では、「成蹊の食材を使って」という独自の副教材を使用し、男女共に料理づくりを楽しんでいます。将来の食生活を健康で心豊かに創造できるよう、その一歩を築いていきます。

成蹊家庭科シンポジウム

生活者の視点で社会を見つめ、そこにある課題に気づき、解決へ向けて新しい提案ができる力を育むことを目指しています。グループに分かれて、1学期に学習した分野「人の一生と家族・家庭」に関するテーマを設定し、2学期に研究成果を発表します。クラス代表による「成蹊家庭科シンポジウム」を開催し、優秀者は外部の大会にも出場しています。

情 報

【高校】（※高校のみの科目）

「情報」は高度情報通信社会に対応した人材を育成するために、情報の科学的理解から、情報の収集・分析から発信までを総合的に学ぶ必修科目です。

情報の授業では、数学等の授業と同じような座学（講義）形式の授業とパソコンを用いた実習形式の授業を行います。実習の授業ではプログラミングをはじめ、表計算ソフトを用いたデータの処理等を行います。実習の授業では各ソフトウェアの機能や操作法にとらわれずに授業することを心掛けています。それは、高校生に対して、そのときに最新のソフトウェアの操作法を教えても、彼らが社会に出るころには陳腐化しており、新しいものになってしまうからです。本校では、時代の変化にとらわれない「情報」の普遍的な知識や考え方を学ばせるべきだと強く考え、実習の質を確保しつつも、座学（講義）の時間を増やしています。

「情報」の座学（講義）は、社会学的に学習する側面と、科学的に学習する側面に大分することができます。

社会学的な学習では、情報の収集・発信において重要となる著作権などの法律や、通信技術を用いて社会がどのように効率化できるかという問題、また、情報セキュリティを確保するためにどのような要素が必要であるか、などを学習します。

科学的な学習では、コンピュータの構造や処理の仕組み、デジタル化の原理などを学習します。

コンピュータ教室

これからはコンピュータを使えるのは当たり前で、どのように活用するかがポイントとなります。中央館内に設けられたコンピュータ教室には、同時に2クラスの生徒が1人1台使えるだけのコンピュータが揃っています。コンピュータの操作をはじめ、さまざまなソフトウェアを使用した授業が行われています。さらに、放課後にインターネットで情報検索を行ったり、レポートを作成したり、さまざまな活用が可能です。

国際理解教育

(1) 国際理解教育

国際社会で活躍する人間を育てるのに必要なのは、外国語の教育だけではありません。今の時代に求められているのは、コミュニケーションができ、異なった背景を持つ歴史や文化を理解した上で自らの考えを表現できる人間です。

成蹊高校では、英語に限らず、希望者はドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮・韓国語の授業も受講する*ことができます。また、国際社会を理解するためのキーワードとなる近現代史の教育として、政治経済、日本史、世界史などの科目にも力を入れ、使える英語力を基盤に国際社会に通用する教養と個性を育てることが、成蹊の「国際理解教育」の特徴です。

夏休み中に外国人ファシリテーターのもと、アメリカの大学生・大学院生を含む5～6名毎のグループに分かれ、さまざまなトピックについて英語で討論をする「グローバルスタ

ディーズプログラム」を中学3年から高校生の希望対象者にを行っています。中学では1年生の希望者を対象として入学試験期間中に、英語漬けの生活を体験する「イングリッシュ・シャワープログラム」を1、2年生の希望者には「グローバルスタディーズプログラム」の前段階としてのプログラム「プレグローバルスタディーズプログラム」を行っています。

また、セントポールズ校、カウラ市の高校、チョート・ローズマリー・ホール校、フィリップス・エクセター・アカデミー校、国際ロータリークラブ、AFS、YFU財団の留学制度等に生徒が参加する一方で、世界各国からの留学生を積極的に受け入れており、日常的に交流を図ることができるため「世界は多様である」ということを感じられる環境が常にあります。

*授業は10名以上の希望者が集まった場合に開講されます。

(2) 留学制度

本校では国際社会の中で自分の人生を考える機会を生徒に提供しようと考えており、特徴のある独自の留学制度が準備されています。

● 独自の長期留学制度

セントポールズ校、カウラ高校との間に交換留学の制度があり、チョート・ローズマリー・ホール校との間には長期留学の制度があります。交換留学は前年度の夏に中学3年、高校1・2年の生徒を対象に募集し、例年、各成績の基準を満たした10名程度の生徒が応募しています。その中から、それぞれ選考を経て各1名の生徒を決定しています。

セントポールズ校: アメリカのニューハンプシャー州コンコードにあるセントポールズ校はテン・スクールズの1校として全米に名を馳せています。1949年以来、本校は留学生を派遣し、1976年からはセントポールズ校からの留学生も受け入れ、交換留学制度に発展しました。多くの留学生は帰国せず、そのままハーバード大学、プリンストン大学などに進み、各界で活躍しています。1年目の現地での費用は免除されます。

カウラ市の高校: オーストラリアのカウラ市は第二次世界大戦の時に捕虜収容所があった場所です。国際法で捕虜としての人権が保障されていたにもかかわらず、日本人捕虜の脱走事件があり、監視にあっていたオーストラリア人と脱走した日本兵の多くが亡くなりました。カウラの人々にとっては不可解な事件でしたが、彼らは亡くなった日本兵の墓地を造り、日本人を理解しようと思いました。そうすることで、再び戦争が起きないようにしたいと思ったからです。このような経緯の中で、1970年に州立カウラ高校と本校の交換留学制度がスタートしました。

チョート・ローズマリー・ホール校: アメリカのコネチカット州にあるテン・スクールズの名門校で、ジョン・F・ケネディの出

身校として有名です。村田奨学金※により、日本からの留学生を増やすプロジェクトが開始。本校の歴史ある国際交流の実績が評価され、2015年のサマースクールへ5名の派遣が、2016年から長期留学生の派遣が始まりました。

※**村田奨学金:** チョート・ローズマリー・ホール校出身の村田貴士氏の寄付により2015年に設けられた奨学金。同校で学ぶ日本人を増やすことを目的とした奨学金で、サマープログラム参加者と長期留学生の学費・寮費相当分が支給されます。同校の日米委員会が受け入れを決定した本校中高校生はサマープログラム参加者(公欠扱い)・長期留学生(成蹊は退学するが復学も可)として派遣されています。

● 独自の短期留学制度

夏休みと春休みを利用し、2～3週間程度の日程で行っています。ただ単に現地を訪れるのではなく、歴史や文化など事前学習をした上で、留学の日を迎えます。

カウラ市の高校: ホームステイを通じてカウラ市の人々と交流しながら学ぶことに大きな意義があると考え、2003年から夏休みを利用した短期留学制度もスタートしました。この短期留学は隔年で実施され、中学3年と高校1年を対象としています。

ケンブリッジ大学: 高校1～3年を対象としたイギリスのケンブリッジ大学ペンブルックカレッジへの短期留学制度が2006年度からスタートしました。ケンブリッジ大学の施設を利用した夏期短期留学制度は他にもありますが、本校の制度はペンブルックカレッジのスタッフが運営するプログラムです。英語の学習、英国文化、社会、芸術・建築史の学習をケンブリッジ大学の正真正銘のカレッジライフを通じて行います。

カリフォルニア大学デービス校：春休み中に、アメリカのカリフォルニア大学デービス校 (UCD) のキャンパスで「英語とキャリア教育」を中心に学び、英語でのプレゼンテーション力も鍛えます。ホストファミリーのもとから通学し、留学中、スタンフォード大学の訪問やフードバンクでのボランティアも体験します。

チョート・ローズマリー・ホール校：世界各国から集まる同校のサマープログラムに、村田奨学生 (2～3名) を含む数名を派遣します。本校からは2015年の夏以降、毎年派遣。世界中から集まる中高生と寮生活を送りながら貴重な体験をします。

フィリップス・エクセター・アカデミー校：アメリカのニューハンプシャー州にある名門校で、テン・スクールズの1校。2016年より短期交換留学がスタートしました。現地のプログラム費用は免除されます。

ルンステッド高校：デンマークの私立高校で、秋に短期受入れを隔年で実施し、成蹊生は夏期に隔年で訪問します。

カルマーレ国際高校：スウェーデンの私立学校で、日本語を学ぶ生徒を1月に本校が受け入れています。成蹊生は夏期に隔年で訪問します。

●ターム留学

高1、2年を対象とした、海外の高校に3学期の3ヵ月間、留学をする制度。カナダ西部地方へ留学し、語学学校と現地の高校に通います。

●成蹊が紹介するサマープログラム

イーグルブルック校：アメリカのボーディングスクールの中学校のサマープログラムです。日本の中学生向けに、時期を8月からに設定しています。中1～3の男女が参加可能です。

●成蹊が紹介する財団など主催の留学プログラム

学校間で協定している前述の留学プログラムの他にも、次の機関による留学プログラムも利用できます。また、長期留学では授業料等納付金の2分の1が減免になります。

長期留学 (1年以上)

次のうち1～3の留学プログラムは、本人の希望があり学校が認めれば、留学終了後、留年せずに進級ができます。

1. ロータリー

ロータリークラブという非営利団体の青少年交流委員会が母体となる国際親善を目的とした留学制度。世界各国にロータリーの親善大使として派遣されます。

2. AFS

財団法人AFS (American Field Service) が母体となり、世界各国に派遣されます。

3. YFU

財団法人YFU (Youth For Understanding) が母体となり、世界各国に派遣されます。

4. UWC (United World Colleges)

社団法人日本経済団体連合会が派遣生を募集。全国から選抜された優秀な高校2年生を毎年18カ国にあるUWCの全寮制高等学校に派遣します。2年間在籍し、卒業生は世界各地の有名大学に進学します。

●奨学金

ケンブリッジ大学短期留学プログラム奨学金

経済的理由から参加を思いとどまる生徒のために留学費用の一部を支援する目的で設けられました。収入に応じ20万円が給付されます。

成蹊学園三菱留學生奨学金

三菱金曜会所属企業からの寄付を基金とし、成蹊学園各学校の学生・生徒の外国留学を奨励することを目的とした奨学金です。

・セントポールズ校、チョート・ローズマリー・ホール校の留学に奨励が認められ、成績の基準を満たす生徒に50万円を給付します。

・2023年度より、ターム留学への奨励も認められ、要件を満たす生徒に給付します。

●受入留學生

高校のクラスに所属し、クラスの一員として授業や行事に参加し、クラブ活動にも加わります。

	2023	2022	2019
セントポールズ	0	0	1
カウラ	0	2	2
フィリップス・エクセター・アカデミー	2	3	2
ルンステッド	5	0	5
カルマーレ	5	3	2
ロータリー	1	1	1
AFS	1	1	1
YFU	4	2	5
計	18	12	19

*新型コロナウイルスの感染拡大を受け、2020年度の入受学生は0名、2021年度はAFSの1名になります。

*2024年度の国際交流プログラムの実施については、ホームページをご確認ください。



●派遣留學生(1年間)

学校主催のプログラムだけでなく、財団等主催のプログラムにも積極的に申し込んでいます。

	2023	2022	2021
セントポールズ	1	1	1
チョート・ローズマリー・ホール	1	0	1
カウラ	1	1	0
ロータリー	2	0	0
AFS	0	3	2
YFU	2	3	2
計	7	8	6

*2020年は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、セントポールズの派遣1名を除き、派遣は中止しています。

● 派遣留学生 (ターム)

	2023	2022	
カナダ語学学校・現地校	21	22	—

*2022年度からの新規プログラムです。

● 派遣留学生 (短期)

学校独自の交流校への派遣で、ホームステイあるいは寮で生活します。

	2023	2022	2019
ケンブリッジ大学	29	中止	29
カウラ市の高校 (隔年実施)	—	中止	20
カリフォルニア大学デービス校	28	25	21
チョート・ローズマリー・ホール校	2	4	3
フィリップス・エクセター・アカデミー校	3	中止	2
ルンステッド高校 & カルマール国際高校 (隔年実施)	18	—	—

「—」は派遣のない年。

*新型コロナウイルスの感染拡大を受け、2020年、2021年の派遣は中止。チョート・ローズマリー・ホール、フィリップス・エクセター・アカデミーは一部オンライン実施。

● アカデミック・アドバイザー

本校には欧米への大学に進学する生徒が半世紀以上にわたってコンスタントに出ています。その大半が帰国生でしたが、近年では日本で初等教育を受けて、高校からあるいは大学から欧米の学校を目指す生徒が出てきました。本校にセントポールズ校、チョート・ローズマリー・ホール校、フィリップス・エクセター・アカデミー校などとの交流があることを知り、それを目指して入学する生徒や在学中に留学を決意する生徒もいます。国内外の国際理解教育プログラムに対応し、それに向けて準備をするためには、適切な情報量を提供し、さらに背景となる知的訓練やエッセイ作成などの時間がかかります。もちろん、TOEFLやSAT/ACTなどの受験にはノウハウが必要です。こうした指導を担当するため、本校ではアメリカ人アカデミック・アドバイザーを置いて対応しています。

【海外大学進学者】

2006年	スタンフォード大 (アメリカ) *
2009年	ウィートン大 (アメリカ) *
2011年	コロンビア大 (アメリカ) フライブルク音楽大 (ドイツ) * →ルツェルン音楽院 (スイス)
2012年	カリフォルニア大デービス校 (アメリカ) リスト・フェレンツ音楽大 (ハンガリー)
2013年	ラトガーズ大 (アメリカ) ハミルトン・カレッジ (アメリカ) *
2014年	マギル大 (カナダ) ウェルズリー・カレッジ (アメリカ) *
2015年	ウェルズリー・カレッジ (アメリカ) * ブラウン大 (アメリカ) *
2016年	パデュー大 (アメリカ) トロント大 (カナダ)
2017年	トロント大 (カナダ) * インディアナ大ジェイコブズ音楽院 (アメリカ) * グリフィス大 (オーストラリア) ニューヨーク大 (アメリカ) カリフォルニア大デービス校 (アメリカ)
2018年	ウィスコンシン大ミルウォーキー校 (アメリカ) オレンジコーストカレッジ (アメリカ) ロンドン大キングスカレッジ (イギリス) ロンドン芸術大 (イギリス)
2019年	スタンフォード大 (アメリカ) * ケニオン大 (アメリカ) * ドレスデン工科大 (ドイツ) ハンガリー医科大 (ハンガリー) マサリク大 (チェコ)
2020年	アマーストカレッジ (アメリカ) バプソンカレッジ (アメリカ) マギル大 (カナダ) ハンガリー医科大 (ハンガリー)
2021年	清華大 (中国) オクシデンタルカレッジ (アメリカ)
2022年	デンバー大 (アメリカ) ウェルズリー・カレッジ (アメリカ) * ラファイエットカレッジ (アメリカ) * マギル大 (カナダ)
2023年	ニューヨーク大 (アメリカ) ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン (イギリス) コー・カレッジ (アメリカ) カリフォルニア大デービス校 (アメリカ) ウィットマン・カレッジ (アメリカ)
2024年	ロンドン大キングスカレッジ (イギリス) ヴィルダウ工科大学 (ドイツ)

【*】はアメリカのセントポールズ校、チョート・ローズマリー・ホール校への留学 (成蹊は退学) を経て進学。

国際教育センター

国際教育センターでは、国際理解教育の推進を学園全体の目標として掲げ、語学だけに特化することのない真の国際人の育成を目指し、小学校から大学まで各段階に応じた国際理解教育を体系的に進めています。一貫した国際コミュニケーション能力の開発、異文化を実際に体験する国際交流・海外留学など、各段階に応じた多岐にわたる国際理解教育を体系的に展開しています。小学校から大学までが同じキャンパスにある本学のメリットを生かし、国際化の進展する今、国際感覚を備えた人材を学園全体で育成しています。

学校生活

(1) 時程表・時間割

時程表

朝	礼	8:15 ~ 8:25
第1時限		8:30 ~ 9:20
第2時限		9:30 ~ 10:20
第3時限		10:30 ~ 11:20
第4時限		11:30 ~ 12:20
昼休み		12:20 ~ 13:05
第5時限		13:10 ~ 14:00
第6時限		14:10 ~ 15:00
第7時限		
第8時限		
授業終了後 終礼・清掃		
下校時刻 【中学】 4～10月 17:10 (※延長の場合 18:00 最終下校) 11～3月 16:40 (※延長の場合 17:30 最終下校) *土曜日の最終下校時刻は16:00 【高校】 4～10月 18:30 11～3月 17:30 *土曜日の最終下校時刻は17:30		

※延長は、特別な理由がある場合は週2回、他には行事前の実行委員会、文化部などに認められます。

中学1年の時間割例

	月	火	水	木	金	土
1	国 I	保健体育	英語	英語	英語	数学β
2	歴史		数学α	書道	数学α	国 II
3	生物	国 II	音楽	美術	地理	地学
4	音楽	英語	地学	国 I	生物	保健体育
5	英語	数学α	国 I	道徳	技術 家庭	
6	数学β	地理	歴史	HR		

高校1年の時間割例

	月	火	水	木	金	土
1	世界史	数学α	政治経済	数学β	数学β	物理
2	情報	世界史	現代文	現代文	物理	数学α
3	化学	古典	化学	保健体育	世界史	英(1)
4	数学α	英(2)	英(1)		政治経済	現代文
5	英(2)	数学β	芸術	英(1)	古典	
6	保健体育	物理	美工書音	HR	英(1)	
7		数学α※				
8						

※高校1年の数学は高校受験での入学者は週4時間となります。

高校3年の時間割例 ※選択コース(P.5):理系(bコース 16)

	月	火	水	木	金	土
1	保体2	数Ⅲα	英語1	生物	情報	倫理
2	保体2	生物	保体1	数Ⅲα	現代文	英語1
3	英語2	生物	数Ⅲα	数Ⅲβ	英語1	数Ⅲβ
4	数Ⅲβ	倫理	生物	英語2	倫理	化学
5	数Ⅲα	英語1	化学	現代文	数Ⅲα	
6	化学	現代文	化学	HR	生物	
7						
8						

(2) 年間行事

【中学】

【高校】

行事	4 April	5 May	6 June	7 July	8 August	9 September	10 October	11 November	12 December	1 January	2 February	3 March
入学式 始業式 オリエンテーション 防災訓練 基礎学力テスト 新入生歓迎会 健康診断 理科野外観察会*	入学式 始業式 オリエンテーション 防災訓練 新入生歓迎会 健康診断	春の遠足 中間テスト 体育祭	文化部発表会「6月展」 授業見学	期末テスト 1・2年夏の学校 終業式 グローバルスタディーズプログラム*	3年カウラ市の高校短期留学*(隔年)	始業式 蹊祭(文化祭)	中間テスト 3年修学旅行 防災訓練	生徒会立会演説会、役員選挙	期末テスト 終業式 学習旅行*	始業式 GTEC(1年～3年) 理科野外観察会* 文化部発表会「1月展」	イングリッシュ・シャワー(1年)* 留学体験報告会*	学年末テスト 合唱祭 終業式 卒業式 UCD校短期留学(3年)*
	入学式 始業式 オリエンテーション 防災訓練 健康診断	体育大会 生徒総会 中間テスト 生徒会立会演説会、役員選挙 遠足	文化部発表会「6月展」	ケンブリッジ大学短期留学* 終業式 グローバルスタディーズプログラム*	学習旅行* カウラ市の高校短期留学(1年)*(隔年) 北欧短期留学プログラム(隔年)	始業式 宿題テスト(1・2年) 実力テスト(3年) 体育大会 蹊祭(文化祭)	中間テスト 防災訓練	名人会	期末テスト 終業式 学習旅行*	始業式 ターム留学* 文化部発表会「1月展」 実力テスト(1・2年)	マラソン大会 留学体験報告会*	学年末テスト 卒業式 終業式 UCD校短期留学*

*希望者のみ

成蹊を知る

学 習

国際理解教育

学校生活

大学進学

中学入試

高校入試

その他

Q & A

(3) 校内行事・校外体験行事 (2023年度)

【中学】

○:校内 ●:校外

4月 ○新入生歓迎会

生徒会役員が中心となり、2・3年生が新入生に学校のルールや部活、委員会などを楽しくわかりやすく紹介します。

5月 ●春の遠足

(1年) 御岳山ハイキングを通じ新たな友達もできません。

(2年) 陣馬山登山にチャレンジします。

(3年) 鎌倉の文化財鑑賞を通して修学旅行前の最後のグループ活動の練習を行います。

○体育祭

中学校全校生徒が学年を超えてクラス対抗で競技を行います。棒引き、クラス別・ブロック別リレーなどの競技の他、ブロック対抗応援合戦といったプログラムもあります。また、競技の様子を生徒が実況し、放送します。

6月 ○文化部発表会『6月展』

書道部、美術部、科学技術部、家庭部、自然科学部などが作品や活動報告を展示発表します。土曜日には演劇部、吹奏楽部、ストリングス部、ダンス部、コーラス部が大教室で公演発表を行います。

1月にも同様の「1月展」を行っています。

7月 ●夏の学校(1年、2年)

本物に触れながら「自分で考える力」を身につけていく体験学習の中でも、特に大自然に親しむことができるものです。

1年生は、車山高原での自然観察を通じて仲間づくりを行います。

2年生は、志賀高原で自然と地域に生きる人々と触れ合います。

寝食をともにする3日間で、友達との仲も深まります。

高校生・卒業生もヘルパーやアシスタントとして参加してくれます。

9月 ○^{こみち} ^{さい} 蹊 祭(文化祭)

9月最終もしくは10月最初の土曜・日曜

中高全体を舞台に、クラスで、部活で、有志でさまざまな展示や踊り、演奏、芝居などのパフォーマンスの発表を行います。毎年2日間で約9,000人以上が訪れる校内行事最大のイベントです。

10月 ●修学旅行 京都・奈良への宿泊行事

(3年) 社会、美術、国語などの授業での事前学習の内容を踏まえて出発します。グループ行動の見学では自ら立案、計画して1日京都巡りを楽しみます。

11月 ○生徒会立会演説会、役員選挙

生徒会選挙は翌年度の生徒会役員を選出する本格的な選挙です。各クラスからの立候補者と推薦者が全校生徒に対してアピールする立会演説会を行い、選挙管理委員の生徒(3年生)の運営により、投票・開票を行います。

1月 ○文化部発表会『1月展』

3月 ●合唱祭

クラス毎に発表する合唱祭は3学年合同で行われます。学年最後のクラス対抗行事として、それぞれの思いを胸にハーモニーを奏でます。

○卒業生歓送会

卒業する3年生へ1・2年生からお祝いのメッセージをおくります。生徒会役員が中心となって催します。

「体験学習」を重視する成蹊中学ならではの豊富な学外行事。あえて学年全体で集団行動、集団生活をすることでさまざまな体験をし、新たな自分の発見と成長につなげます。

遠足などは全て現地集合。自分で交通手段や交通費を調べて自力でたどり着きます。

【高校】

○：校内 ●：校外

4月 ○オリエンテーション(1年)

入学式後のオリエンテーション期間にチームビルディングを行い、HRでの他者理解を促し信頼関係を早期に築き、高校からの入学生を含め安心して学校生活を送れるような環境を整えます。

5月 ○体育大会

生徒会の一機関である各運動部の代表から構成される運動委員会が、企画・運営します。種目はバスケットボール・バレーボール・サッカー・ソフトボール・テニス・卓球・ドッジボール・キックベースボールやクラス対抗種目、リレーなどで、各種目の審判は各運動部の部員が担当し、学年別クラス対抗の球技大会です。5月の体育大会は、1年生にとっては最初の、2年生にとってはクラス替え後の最初の学校行事であり、クラスづくりに欠かせない行事となっています。

5～ ●遠足

6月 5月下旬～6月上旬 全学年ともクラス単位で実施。クラスの遠足委員が担任と協力し、クラスの親睦を図ることを目的に、過去の実施例を参考にインターネットなどで情報収集して計画、実施します。

6月 ○文化部発表会『6月展』

各文化部の代表から構成される生徒会の一機関である文化委員会が、企画・運営します。6月展、1月展ともに1週間開催されます。各文化部の活動成果をホームルーム棟1階玄関ホールなどに展示し、土曜日には公演団体による大教室公演が行われます。

9月 ○体育大会

○蹊祭(文化祭)

9月最終もしくは10月最初の土曜・日曜 代議員会の承認を受けた特設委員会である蹊祭実行委員会が、企画・運営します。蹊祭実行委員会は1・2年生で構成され、委員長・副委員長の下、会計・会場・装飾・イベント・バンド・広報などの各パートからなり、毎年引き継がれることが伝統になっています。1年生と2年生には、クラス全員で何かをつくり上げる体験を大切にする意味から、クラス単位での参加を義務づけています。

11月 ○名人会

高校生徒部主催で、生徒と教職員に呼びかけ、土曜日の午後に大教室で行われます。部活以外の活動で特に優れた技能を持った「名人」が、ピアノの楽器演奏などを発表します。

1月 ○文化部発表会『1月展』

2月 ●マラソン大会(1・2年)

場所:昭和記念公園(男子約8km、女子約4km)

体育科主催の学校行事です。3学期の体育の授業における持久走の成果を個人およびクラス対抗で示します。個人成績は体育の成績に反映されます。

夏休み ●学習旅行(2年)

冬休み 体験や自然・歴史・文化の学習を目的とした少人数による旅行です。各企画は、学習旅行委員会での検討と職員会議の承認を経て生徒に提示され、20名以上の参加で成立します。また、生徒が希望し、企画・立案することも可能です。

事前学習や事後のレポート提出があります。過去実施されたコースは以下の通りです。

国内:北海道、九州、屋久島、沖縄、海士町、四国

海外:韓国、台湾、香港・深圳、シンガポール、ベトナム、フィリピン

学習旅行の「学習」とは、学校での毎日の勉強とは異なること、あるいは机に向かうだけでは決して得られないことを、毎日の学校生活(=日常)とは全く異なる時間と空間での体験(これを「旅」というのです)を通して、知り、考え、味わい、感動していくという意味です。行って良かったと必ず思える、高校時代の大切な思い出となる行事です。

* コースについては1月中旬より案を募集、3月に承認・決定され、4月のオリエンテーション時に説明会を実施します。

* 探究学習の1つとして、1年次に全生徒がチームに分かれ共同して企画立案を行っており、プレゼン大会を経て、その中から企画が採用されることもあります。

《学習旅行実施の原則》

- ①高校の学習目標に寄与するコースを設定する
- ②旅行先の範囲:日本国内および海外
- ③日数:日本国内3泊4日、海外4泊5日以内
- ④費用:限度額は日本国内12万円程度、海外14万円程度
- ⑤時期:夏休み、冬休み
- ⑥最少催行人数:参加生徒20名以上
- ⑦利用交通機関:バス、電車、飛行機、および定期船
- ⑧引率教員:最低2名、参加生徒数の増加に応じて増員

2023年度 中高進路および知的好奇心刺激企画

本校では生徒が多様な選択ができるよう、知的好奇心を刺激する幅広い分野の「本物に触れる」企画を紹介・提示しています。学内で行われるものや、学外で行われるものなど様々で、講師も卒業生から各分野の専門家と多岐にわたっています。

日付	対象	企画内容		講師 他	主催
毎週火曜日	高校	ディスカッション	ダイバーシティ・ランチ・ミーティング (dunch)	在校生、他校生、卒業生、教員	ダイバーシティ
2022年9月 ～ 2024年3月	中1～高1 (募集時)	SEIKEI WOODS	「林苑をどのような“場”とするか」を探究する、成蹊でしかできないクリエイティブラーニングプロジェクト	三菱地所設計 伍藤留理子氏(卒業生)・成蹊会	造形科
3/20	中高	壮行会	カウラ派遣生壮行会	国際教育部	国際教育部
3/28	全学年	三菱地所設計主催丸の内見学ツアー	SEIKEI WOODS特別講師の所属されている三菱地所設計の設計士様案内による丸の内見学ツアー	三菱地所設計 伍藤留理子氏・野村和宣氏	造形科
1・2学期	中高	英語特別講義	上級TOEFL講座	アカデミックアドバイザー	国際教育部・進路指導部
1・3学期	中高	英語特別講義	アカデミックスキル講座(海外の学校で授業を受ける準備)	アカデミックアドバイザー	国際教育部
前期	高3	高大連携成蹊大学科目等履修制度	カルチュラル・スタディーズ<1>・カルチュラル・スタディーズ<2> スポーツと社会・健康政策論・高齢者福祉論・地域福祉論・天文学入門・近現代日本史A/<2>・芸術への招待/<1>・地域づくり論	成蹊大学教員	進路指導部
4月～12月 (全13回)	高1・2	探究プログラム	大正製薬探究プログラム(マーケティング学習、オリジナルポトルデザイン制作)	進路指導部	進路指導部
4月	高	トークライブ	卒業生を招いてモニタートークライブ【制服フリーデー】を考える	在校生、卒業生、教員	ダイバーシティ
		トークライブ	卒業生を招いてモニタートークライブ【ダイバーシティ1期生とダイバーシティを考える】	在校生、卒業生、教員	ダイバーシティ
4/2	小～大	フォーラム	[ESD成蹊フォーラム2023 武蔵野の自然と成蹊の学び]	古橋大地氏(青山学院大学地球社会共生学部教授)	ESDセンター
4/5	中高	生物科企画特別講義	「シーラカンスよりも珍しいヨコヅナイワシの計測と解剖」	猿渡敏郎氏(東京大学大気海洋研究所)	生物科
4/23	高	イベント参加	東京レインボープライドで感じる、考える	在校生、卒業生、教員	ダイバーシティ
4/29	中1～3	理科野外観察会	多摩川河川敷にて野鳥観察、水生生物観察、植生観察、化石採集	中高理科教員	中高理科
5月	高3	検定	TOEIC BRIDGE	進路指導部	進路指導部
	高2	講座	論理コミュニケーション講座 アドバンスコース 慶應義塾大学 梅嶋真樹教授によるオンライン講義	進路指導部	進路指導部
5月～6月		講義	基礎TOEFL・中級TOEFL /IELTS講座	派遣講師	国際教育部
5月-12月	高	オンライン講座	東京大学「高校生と大学生のための金曜特別講座」	東京大学教員	進路指導部
6月～1月 (全10回)	高2	講座	論理コミュニケーション講座 アドバンスコース(キャリアを考える) + 夏休みオンライン補講	進路指導部	進路指導部
6月	中・高	検定	英検 3級・準2級・2級	進路指導部・教務部	進路指導部・教務部
			第16回高校生模擬裁判選手権	日本弁護士連合会	進路指導部
	高2理系	説明会	成蹊大学理工学部 研究室見学	成蹊大学 理工学部	進路指導部
	高2文系	講座	成蹊学園 学園長 江川雅子氏による講義	成蹊学園 学園長 江川雅子氏	進路指導部
	高2	模擬授業	全20大学の教員による模擬授業 北里大学医療衛生学部・理学部、杏林大学保健学部、上智大学総合グローバル学部、多摩美術大学美術学部、中央大学国際経営学部・法学部、津田塾大学総合政策学部、電気通信大学情報理工学域、東京外国語大学大学院総合国際学研究院、東京海洋大学海洋工学部、東京芸術大学日本語・日本文学研究講座、東京女子大学現代教養学部、東京農工大学グローバル教育院、東京薬科大学生命科学部、東京理科大学創成理工学部、日本獣医学大学獣医学部、法政大学経済学部、明治大学総合数理学部、明治薬科大学薬学科、横浜国立大学都市科学部、早稲田大学創造理工学部		進路指導部
高1	模擬講義	成蹊大学教員による模擬講義「経済学で考える私たちの社会」経済学部、「マーケティング×データ・サイエンス」経営学部、「国家間戦争の時代への回帰?— 20世紀史との往還で現代国際社会を考える」法学部、「絵を「テキスト」として読み解く: ノーマン・ロックウェル「リベット打ちのロージー」から」文学部、「日韓アイドル史比較研究」文学部、「数学を使った意思決定」理工学部、「コンピュータによる知的情報処理のしくみ」理工学部、「触覚・VR・サイボーグ～五感のふしぎな世界～」理工学部、「量子コンピュータ・空飛ぶ車にも役立つ超電導とは?」理工学部、「生物学はどこまで物理学か?」理工学部		進路指導部	
6/13	高	探究プログラム	2023成蹊スタートアップキャンプin GOTO 講演会	櫻津氏(長崎県五島市東京事務所) 西川氏(五島市役所商工雇用政策課)	進路指導部
6/17	中高	生物科企画特別講義	深海魚特別講義「あの手この手で海を探り、深海魚の姿に迫る」	猿渡敏郎氏(東京大学大気海洋研究所)	生物科・家庭科
6/19	高2・3 演習	印刷会社制作・工場見学	ロゴマークデザインを製品化する工程を学ぶデザイン制作の現場と製品工場の見学ツアー	株式会社 文伸	造形科
6/24	中高	進路プログラム 体験	カードで学ぶアントレプレナーシップ ワークショップ	教育と探求社	進路指導部
6/29	中3	講演	探究テーマ「10年後の社会との関わり」プログラム「前へ! 前へ! 前へ!」	税所篤快氏	進路指導部 第3学年
6/29	中2	講演会	東儀秀樹氏 講演会	東儀秀樹氏(雅楽演奏家・作曲家・俳優)	中高
7月・8月	高1～高3	体験	東京都社会福祉協議会「保育の仕事職場体験」	進路指導部	進路指導部
7月・8月	高1	課題調査レポート	社会科学分野の課題について調査し、レポートをまとめる	社会科教員	社会科
7月～12月	高	探究プログラム ※オンライン・対面	クエストエデュケーション「コーポレートアクセス」の取り組み【クエストカップ2023全国大会出場を目指して】	進路指導部、教育と探求社株式会社	進路指導部
7月～3月 (全15回)	高1	講座	論理コミュニケーション講座(論理コミュニケーション検定3回含む)	進路指導部	進路指導部
7月(全5回)	中高	GSP(グローバル・スタディーズ・プログラム)	グループリーダー(海外からの大学留学生)と交流・ディスカッションをしながら英語でプレゼンテーションをする力を身につける5日間のワークショップ	英語ネイティブスピーカー講師1名+海外からの大学留学生4名	国際教育部
7月	高1・2	相談会	卒業生によるミニ進路相談会	アマースト大学、慶應大学、国際基督教大学	進路指導部
	高	説明会	成蹊高校生・保護者対象「成蹊大学説明会」(EAGLE紹介は動画配信)	成蹊大学アドミッションセンター	進路指導部
	中2	探究プログラム	TORITOWN KICHUJOJI project・吉祥寺探索スローガン「セカイをChange!」		進路指導部
	高		第7回高校教育模擬国連大会(AJEMUN)	全国中高教育模擬国連研究会	進路指導部
7月～3月	高1・2	オンライン講義・グループワーク	ICU リベラルアーツ次世代育成プログラム Global Challenge Forum 2023	ICU教員	進路指導部
7/10	中	進路プログラム	社会を見よう in つくば	進路指導部ほか	進路指導部
7/13	高	探究プログラム 講演会	2023成蹊スタートアップキャンプin GOTO 「住を、もっと自由に。n'estateが目指す未来」	櫻井公平氏(三井不動産レジデンシャル株式会社)	探究プログラム

日付	対象	企画内容	講師 他	主催	
7/18	中高	探究プログラム講演会	2023成蹊スタートアップキャンパスin GOTO 講演会	中馬慎之祐 氏 (卒業生・ワシントン大学)	探究プログラム
8/21-22	高	探究プログラム	ゼロから学べるデータ分析講座 夏季集中講座	近藤啓太 氏 (株式会社Novath)	進路指導部
8/28-9/1	中3 高1～高2	探究プログラム	長崎県五島市「SEIKEI Startup CAMP 2023 in GOTO」	進路指導部	進路指導部
8月～10月 (全6回)	高1・高2	探究プログラム	MOTTAINAIプログラム (国際協働オンライン学習)	Air Pangaea社	進路指導部
8/30	中	体験ワークショップ	歌舞伎から誕生した日本舞踊の名作の衣裳の着付けを体験する特別ワークショップ	松竹衣裳株式会社舞踊課	特別研究グループ「歌舞伎」
後期	高3	高大連携成蹊大学科目等履修制度	サイエンス・トピックス (生命の科学)・テーマ別日本語表現 (源氏物語を読む)・社会学と現代<2>・成蹊を知る・福祉社会に生きる・薬はなぜ効くか・倫理学の基礎<2>	成蹊大学教員	進路指導部
2・3学期	高	英語特別講義	SAT講義 (米国大学進学のための準備講座)	アカデミックアドバイザー	国際教育部
9月～12月	高	読書会	ダイバーシティゼミ「この本をダイバーシティする」 修士論文準備報告会	在校生、卒業生、教員	ダイバーシティ
9月～3月	中高	クリーンアップデー	国際クリーンアップデーに関連して、学校から吉祥寺駅・武蔵関駅までの通学路のごみの回収とポイ捨ての調査	特別研究グループ ユネスコスクール	ユネスコスクール
9/2	中2～高2	講演会	卒業生による講演会 テーマ「昴析」	細川真子 氏 (卒業生・東京農工大学大学院)	理科
9/26	全学年	建築系大学生トーク	早稲田大学創造理工学部の一年生に在籍する卒業生による、実際に制作された作品を交えたトーク	卒業生	造形科
10月	中学美術部	イラストデザイン	成蹊学園オリジナルグッズ ピーチくんの水のイラストデザインプロダクトデザインを学ぶ		造形科・ 中学美術部
	中・高	検定	英検 3級・準2級・2級	進路指導部・教務部	進路指導部・教務部
	高3	見学会	成蹊大学丸の内ビジネス研修 (MBT) 成果発表見学会	成蹊大学	進路指導部
	中・高	グループワーク	オンラインMOGIMOGI	グローバル・クラスルーム日本協会	進路指導部
10/19、30		ユネスコスクール学校交流	和歌山県立古佐田丘中学校3年生が修学旅行を利用して来校。お互いのESD活動について報告し合い、学びの共有をした。	特別研究グループ ユネスコスクール	ユネスコスクール・ 中学3年生
10月～11月	中3	中学3年生× 大学ゼミ体験	「地図の読図と街歩きで地域環境の変遷を読み解く」 「私たちはなぜアイドルを「推す」のか：その心理を探る」 「法学実験—もし著作権法がなかったら世界はどうなる?」 「[ルール]を通じて現代社会を考える」 「転換期の世界と日本の外交・安全保障」 「光の性質と量子力学の世界」 「光と色の科学実験」 「人工知能で新たな知識を見つけよう」	成蹊大学教員	中学 成蹊学園 企画室経営企画 グループ
11月	中3～高2	相談会	卒業生によるミニ進路相談会	慶應義塾大学医学部、東北医科薬科大学医学部、 東京工業大学、東京農工大学	進路指導部
	高2	プレゼンテーション	成蹊家庭科シンポジウム	中高家庭科教員	中高家庭科
	高	シンポジウム	「人類学者と語る人間の「ちがひ」と差別」シンポジウム	日本学術会議	進路指導部
	中3	探究コンテスト	第5回スタートアップJr.アワード2023	進路指導部	進路指導部
	高	イベント	「ダイバーシティ週間」TV朝礼、公開dunch、 ゲリラリッチング&レインボー	在校生、卒業生、教員	ダイバーシティ
11/6-11/17	中高	探究プログラム	成蹊おにぎりアクションプロジェクト	NPO法人TABLE FOR TWO International	進路指導部
11/19	中	けやき循環 プロジェクト	武蔵野グリーンセンター主宰のエコマルシェに出店。けやきを剪定した枝を再利用した小物や、大学の馬術部から提供された馬糞肥料を配布し、学園の環境活動を地域住民に紹介	武蔵野グリーンセンター	ユネスコスクール
12月	高1・2	検定	GTEC検定	進路指導部	進路指導部
	高2	講演会	東京藝術大学デザイン科の一年生に在籍する卒業生によるトーク	卒業生	造形科
	中	進路プログラム	「社会を見よう！」NHK&テレビ朝日見学	進路指導部	進路指導部
12/13	中3～高2	探究プログラム	クエストエデュケーション「コーポレートアクセス」 学内プレゼン大会	教育と探求社株式会社	進路指導部
12/14、15	中高	けやき循環 プロジェクト	けやき並木の落ち葉回収を大学生や学園職員ボランティアと実施。回収した落ち葉で焼き芋大会を実施。	成蹊学園ESDセンター	ユネスコスクール
12/16	小～大	上映会	難民映画祭パートナーズ「マイスマールランド」上映会	運営：WILL2LIVE Cinema Seikei (成蹊大学生と成蹊高校生の有志団体)	ESDセンター
12/20	高	探究プログラム	大正製薬探究プログラム 3校合同プレゼン大会 (慶應義塾高等学校・柳川高等学校)	進路指導部、 大正製薬ブランドコミュニケーション部	進路指導部
1月	高3	検定	TOEIC L&R	進路指導部・教務部	進路指導部
	中・高	検定	英検 3級・準2級・2級	進路指導部・教務部	進路指導部・教務部
	中3、高1	講演会	社会人の話を聞く。(OB・OGによる、社会での仕事、選択の理由、 学生時代にやっておくべきことなど。)	卒業生 (医師、薬剤師、ゲームクリエイター、アナウンサー、弁護士、地方公務員、コンサルタント、 作家、パイロットなど)	進路指導部
1/16～19	中	演劇ワークショップ	SDGsをあきらめた世界のグループ創作 芸術家派遣事業・コミュニケーション能力育成事業	「猫の会」(北村耕治 氏/林成彦 氏)	中学国語科
2月～8月	中3～高2	プログラミング	Pythonプログラミング講座、模型車を用いた自動運転プログラミングの実践、米国MIT開催の自動運転模型車レースへの参加	一般社団法人アローズ・インスティテュート	研究部
2月	高2	シンポジウム 参加未定	第9回高校生国際シンポジウム	一般社団法人Glocal Academy	中高家庭科
2/1	中高	シンポジウム	中学生高校生海洋生物学シンポジウム 「海を探る、海を調べる。キャリアと研究Ⅶ」	コンピーナー： 猿渡敏郎 氏(東京大学大気海洋研究所) 中江雅典 氏(国立科学博物館) 藤原均 氏(成蹊学園ESDセンター)	海洋生物学 アウトリーチ 研究会、 ESDセンター
2/17	小～大	シンポジウム	オーロラと宇宙シンポジウム「日本に現れたオーロラ古記録から探る太陽活動」	片岡龍峰 氏 (国立極地研究所准教授、成蹊学園 ESDセンター客員フェロー)	ESDセンター
2/19	小中高	体験報告プレゼン・ レポート	留学報告会 今年度の国際交流プログラムの体験報告、海外在留の 元成蹊生、卒業生による動画配信。成蹊学園国際交流賞受賞者の紹介	国際教育部	国際教育部

*ESDセンター：成蹊学園サステナビリティ教育研究センター

(5) クラブ活動

中学・高校とも、生徒の多くがクラブに所属し活動しています。運動部、文化部ともに活動が極めて活発です。

各クラブの活動は、学業への負担を減らすため、休日を除き原則的に週4日以内の活動としています。また、一貫校の特色を生かし、中高合同で練習や合宿を行っているクラブもあります。

文化部

部 名	実施	主な活動場所	コメント・結果
イラスト漫画	中学	教 室	自分でテーマを決め、白黒、カラー作品を作成。デッサン、ペン入れ、カラーコピー、トーンなどの技術を磨いている。
英 語	中学	教 室	生徒が自分で考え活動し、初心者でも英語ゲーム、映画、講読を通し楽しみながら学ぶ環境をつくるよう心がけている。
	高校	教 室	英語ディベート、スピーチなどに取り組んでいる。
演 劇	中学	教室、大教室	演技・スタッフワーク、集団でものを作っていく過程を通じて、さまざまな体験、人との出会いから、個々の感性を磨き、自分をきちんと表現できる人間を育てていく。
	高校	第2視聴覚教室	集団で舞台を作っていく体験により、個々の感性を磨き、自分をきちんと表現できる人間を育てる。
科学技術	中学	第2技術室	自分で考え、それを形にすることに主眼を置き指導している。年1回、ロボコンに参加している。
家 庭	中学	調理室、被服室	調理、手芸を主に行い、アットホームな雰囲気を楽しめる部活動をめざしている。
コーラス	中学	音楽室	中高合同でメンバーのお互いの歌声を聴きながら「ハーモニー」をモットーに活動を行っている。
	高校		
社会探検	中学	教 室	日本各地で、地理歴史調査、体験活動を行っている。
写 真	中学	暗室、教室	テーマを決めて、文化祭等での展示発表を行っている。
	高校	部 室	文化祭での展示発表を目的としている。
書 道	中学	書道教室	普段授業では作成できない大きな画仙紙に、さまざまな書体についての指導をうけながら活動している。
	高校		毎年、恒例の6月展・文化祭・1月展発表を目標に、作品を製作している。
自然科学	中学	地学実験講義室	野外活動を中心にグループ研究を行い、年に一度、外部研究会で発表している。
吹奏楽	中学	特別棟、HR棟	中高合同で活動。上級生が下級生を教えながら、皆で音楽を楽しむことに重点を置いて活動している。毎年、定期演奏会を開催。
	高校	大教室、HR棟	高校・中学合同のクラブ。上級生が下級生を教えながら、皆で音楽を楽しむことに重点を置いた活動をしている。毎年、定期演奏会を開催。
ストリングス	中学	音楽室	中高合同で練習・合宿を行い、世代間のコミュニケーションをとることの重要性を身につけさせている。音楽を通じて豊かな感性を身につけ育むことを目標とする。老人ホームや幼稚園で演奏会を行っている。
	高校		
ダンス	中学	前庭、教室	生徒だけで選曲、振り付け、衣装、舞台照明全てを決め、創作している。流行を取り入れたオリジナルなダンスで、感動してもらえるショーをめざしている。
	高校	分割教室	学年別チームになり、選曲・振り付けを行うことで、協調性・創造性・芸術性を養う。ダンスに必要な筋力・柔軟性を得るための体力づくりも行っている。チャリティーイベントやコンテストなどにも参加している。
美 術	中学	第2美術室	デッサン、油彩、水彩だけでなく、ガラス工芸、陶芸、七宝焼、木彫などの工芸作品も製作している。
	高校	第1美術室	生徒の自主的活動を尊重、テーマなどは生徒自身で決め、自由に制作を行っている。絵だけでなく、陶芸など工芸制作も行う。
生 物	高校	生物実験室	フィールド合宿を行う。海岸生物観察会や野鳥観察会などを実施。動物飼育にも力を入れ、多くの生き物を通して確かな自然観を養うことをめざしている。活動研究成果を毎年学会で発表し、さまざまな賞を受賞している。
鉄道文化研究	高校	部 室	文化祭での展示発表を目的としている。
天文気象	高校	部 室 (天文台)	学校の天文台と夏冬2回の合宿を生かして、本格的な天体観測からきれいな星空を楽しむ活動まで行っている。天体観測では学会で発表するレベルに達している。
文 芸	高校	部 室	文芸好きの仲間が集まり、6月展・文化祭・1月展に向け、自主的、定期的に原稿を集め、文集を発行している。
料 理	高校	調理室	料理好きな仲間が集まり、楽しくお菓子作りをしている。文化祭では、例年マドレーヌ・焼菓子を出品。

運動部

部 名	実施	主な活動場所	コメント・結果
剣 道	中学	第一体育館	初心者でも卒業までに二段を取得できる。技術強化よりも礼儀作法を重んじ指導している。男女合同活動。
	高校	第二体育館	剣道を通しての人間形成をめざしている。初心者でも卒業までに三段を取得できる。
硬式テニス (男・女)	中学	中高テニスコート	部活動の目的は、社会に出たときに世界もしくは日本のトップで活躍できる人材となる事。目標は全国大会で優勝としており、日々精進している。部活のコンセプトは「自立した個人の選手集団」としている。
	高校		
サッカー	中学	中高サッカー場	全てに愛着心を持ち、自ら探し見つけ、決断し動きつけ、挫折があっても何度でも挑戦し続けられるやり抜く力と判断力をつけ、将来独立して生き活躍できる人の育成を目的としている。
	高校		「はつらつと爽やかに」をモットーに、西が丘(東京都ベスト4)を目指しているチームです。サッカーを愛する気持ちを忘れずボールと仲間を大切にしている。
山 岳	中学	生徒ホール	「安全第一」の精神のもとで、非日常の世界である山の自然を楽しんでいます。四季の条件にあわせて、丹沢、南アルプス、上越国境、富士五湖周辺の山々で活動している。
	高校	中央館	
水 泳 (中学・高校女:競泳 高校男:水球)	競泳	北プール(夏) けやきグラウンド(冬) 小学校プール(冬)	運動部らしい人格教育を考えつつ活動している。(中学) 個々の記録更新をめざす過程で、自立心を身につけるよう努力している。(高校女子)
	水球	南プール	大学生やOBの指導の下で関東大会出場を目標に練習を行っている。厳しい練習を通してチームワークの重要性を身につけるべく活動している。
ソフトテニス (男・女)	中学	北プール横コート	3年間で初心者から実戦で勝てる技能と人格を身につけることをめざしている。
	高校	大学テニスコート	高体連主催の大会、私学戦、地区大会戦に参加している。熱心に練習し、予選を突破し、本戦出場が目標である。
卓 球	中学	卓球室	経験者と初心者が混ざる、男女混合のクラブである。それぞれの技量・身体能力に応じた目標を設定して練習に励んでいる。
	高校		
バスケットボール (男・女)	中学	第一体育館	技術・体力の向上を目指し、チームワークを大切に活動している。
	高校	第二体育館	バスケットボールを通じて、心身を鍛え、ルールを守り、チームワークを大切に人間形成をめざしている。
バレーボール (中学 女 高校 男・女)	中学	第一体育館	楽しみながら部員が目標を達成できるよう活動している。
	高校	第二体育館	バレーボールは運動能力のみならず、社会に出てからも役に立つコミュニケーション能力が強く問われる。「強くなる」と同時に「楽しむ」ことを忘れないように活動している。
野 球	中学	中高サッカー場 野球場	野球を通じて、規律、礼儀、思いやり、コミュニケーションを育みながら、人間形成をめざしている。
	高校	野球場	人間性の形成を目的とし、「和をもって全力を尽くす」をモットーに活動している。甲子園をめざし、日々精進を重ねている。
ラグビー	中学	けやきグラウンド	「ONE FOR ALL, ALL FOR ONE」の精神のもと、心・技・体を追求し、「やって楽しい、観て面白い」を信条に、スキルフルな光速ワイド展開ラグビーで全国大会「花園」をめざしている。
	高校		
陸上競技	中学	けやきグラウンド	成長過程に即した練習を通し、将来の精神的・身体的成長のための基礎づくりを行っている。競技者としてレースに参加し、楽しんで競技を行う心を養っている。
	高校		自己ベストのためのチーム、個のための集団をめざしている。長距離・短距離・跳躍・投擲の個人種目、また、リレー・駅伝のチーム種目とも、都大会の出場にとどまらず、そこで結果を残すことを目標として活動している。
サイクリング	高校	校内・校外	自分のペースで、時には数十kmのツーリングに出かける。自然の中や見慣れた町並みに新しい発見が待っている。
柔 道	中学	柔道場	楽しい時と厳しい時のメリハリをしっかりと持ち、柔道という日本文化を背負っているという意識の下で人間としての成長をめざしている。
	高校		
スキー	高校	トレーニングルーム けやきグラウンド	競技スキーは個人競技であり、個人の技量を磨くことを目的とするが、あわせて、チームとして互いに競技者のサポートに回る和も大切にしている。
バドミントン	高校	第二体育館	一人の突出した力よりも、全体としてのレベルアップを大切にし、地道に努力を重ねていく過程を重要と考えている。
馬術部	高校	—	部員募集停止中

※各クラブの成績などのデータは、ホームページをご覧ください。



大学進学

(1) 成蹊高校の進路指導

成蹊高校には、多様な生徒がおり、進学先の志望も多岐にわたります。

一人ひとりが自分の進路を自信を持って選択するために必要な、自己分析・情報収集・情報分析の力を養うことを大切に、進路指導を行っています。

■ 多様な進路に対応したカリキュラム

幅広い教科の学習を通じて将来の様々な可能性に対応すること、それぞれの目的に応じた学習を支えることを目指してカリキュラムを整えています。

高校2年で一部の授業を文系・理系に分け、高校3年では各自の進路に対応したコースに分けています(P.5)。具体的には、文系を受験向けと内部推薦向けに分け、さらにそれぞれで数学の有無、日本史か世界史の選択を行います。理系では、物理・化学・生物から2科目を上限として選択し、数学でも医学部・理工学部進学用(数Ⅲ)か歯・薬・獣医・看護系進学用(数ⅢAB)の選択を行います。

■ 高大連携

成蹊大学の教員による各学部の模擬授業を受けたり、理工学部の各研究室を見学することができます。これらは成蹊大学進学希望者に限らず、全ての生徒を対象としていますので、一人ひとりが自分の進路を考える過程でも、非常に役に立っています。

また、高校3年生は大学の一部の講義を履修することがで

き、成蹊大学入学後に単位として認められる制度があります。

■ キャリア意識醸成

● 自分を知る

早い時期から、自分の志向や適性を理解するための、さまざまな機会を設けています。成蹊大学を含む多くの大学の教授が来校して行う模擬授業、留学報告会や在学中の先輩たちが案内する各大学見学会など、「本物」に触れて、興味・関心の在り処を分析します。

● 社会を知る

将来のイメージを具体的に描くため、多方面で活躍する社会人卒業生を招いて講演会や相談会を開いています。また、大学病院やTV局、IT企業など、普通では見られない現場を、卒業生に案内してもらおう見学会などが、年間を通して企画されています。

● 大学を知る

学部再編や英語学位取得コースなど、大学も大きく変化しています。どこで、何が学べるのか。将来どのような道が開けるのか。一人ひとりが自分の個性にあった選択を出来るように、敏速に情報を提供し、さまざまな相談に応じています。

多様化する大学入試についての情報を提供するとともに、どのような準備が必要かについて、一人ひとりの状況に合わせたアドバイスをしています。

(2) 成蹊大学内部推薦

成蹊大学は、経済学部・経営学部・法学部・文学部・理工学部の5学部10学科からなり、博士課程までの大学院を設置しています。

成蹊高校から成蹊大学へは内部推薦制度を有しています。2024年度入学は卒業生の28.5%がこの制度を活用しました。

また、成績上位者は、成蹊大学への推薦資格を維持しながら他大学を受験できる「内推併願制度」を利用することができます。

■ 推薦条件および内推併願制度

成蹊大学への推薦は、高校3年間の成績および出欠状況の基準を満たすと資格が得られます。この基準は学校生活にきちんと取り組んでいれば満たすことのできるものです。

成蹊大学内部推薦者数

入学年度	経済学部	経営学部	法学部	文学部	理工学部	合計	割合
2024年	14	26	27	16	6	89	28.5%
2023年	20	34	21	23	10	108	33.2%
2022年	14	34	15	25	12	100	31.3%

(3) 他大学進学

近年、約70%の生徒が他大学へ進学しています。成蹊大学にはない医歯薬系や芸術系の学部を志望する、地方や海外など違った環境で学びたい、などの理由によるものです。本校では、一人ひとりの考える将来像に沿って、論述力養成やSAT講座を含む、様々な局面でサポートします。

■ 高い目標をめざして

他大学を志望する生徒の多くが、慶應義塾大学・早稲田大学・上智大学・東京理科大学や国公立大学に進学しています。また、医歯薬系への進学者が多いのも特徴です。

昨年度現役受験生の入試結果は別表の通りです。他大学受験した生徒は約232名で、そのうち前述の慶應・早稲田・上智・東京理科大に合わせたのべ80名が合格しました。また、国公立・私立を合わせた医歯薬系への現役合格者数はのべ43名になります。

例年、現役での4年生大学(成蹊大学含む)への入学率は70～80%の間で推移しています。

■ 指定校推薦入試

多くの大学・学部から、指定校制による推薦の依頼があります。この制度を利用して毎年15%程度が、慶應義塾大学・早稲田大学・上智大学・立教大学・東京理科大学や医歯薬系の大学などに進学しています。

■ 総合型・学校推薦型など各種推薦入試

さまざまな推薦入試にも多くの生徒が挑戦します。合格者アンケートや卒業生との面談を通して、情報を収集し、準備を進めることができます。国公立大学や医歯薬系の公募制推薦入試や志望理由書や面接が重視される総合型の推薦入試で、毎年多くの合格者が出ています。

【合格実績】

※2024年3月26日現在

国公立

	2024		2023		2022	
	全体	現役	全体	現役	全体	現役
東京	2	2	3	3	1	1
京都	1	1	2	1	1	0
東京工業			1	1	2	1
一橋	1	1	1	1		
北海道	1	1	2	2	2	1
東北	1	1	2	2	1	1
東京藝術	2	1			1	0
東京外国語			1	1	1	1
東京学芸			2	0	1	1
東京農工	1	1	2	2	1	1
電気通信			1	1		
筑波	1	1			1	1
横浜国立	2	2	1	1	1	1
千葉			3	2		
国際教養	1	1			1	1
都立						
その他	2	1	8	6	7	4
国公立 計	15	13	29	23	21	14

国公立計には医歯薬系合格者を含みます。

私立

	2024		2023		2022	
	全体	現役	全体	現役	全体	現役
早稲田	25	21	21	21	28	21
慶應義塾	17	13	28	26	22	20
上智	25	24	32	26	31	28
国際基督教	8	8	6	6	3	3
東京理科	22	20	13	11	11	7
立教	26	23	29	26	25	21
中央	27	26	24	20	20	17
青山学院	23	21	14	12	21	18
明治	27	26	32	29	23	14
法政	19	18	23	20	12	7
北里	7	6	4	3	7	6
津田塾					2	2
東京農業	5	5			5	4
その他	260	227	259	233	276	225
私立 計	491	438	485	433	486	393

私立計には医歯薬系合格者・国際教養系合格者を含みます。

※海外大学はP.14を参照。

国際教養系

	2024		2023		2022	
	全体	現役	全体	現役	全体	現役
上智(国際教養)	1	1	4	4	6	6
早稲田(国際教養)			3	3	3	3
国際基督教	8	8	6	6	3	3
国際教養	1	1			1	1
立命館アジア太平洋	3	3	2	1	2	2

国公立のうち医歯薬系

	2024		2023		2022	
	全体	現役	全体	現役	全体	現役
北海道(医)					1	1
筑波(医療)	1	1				
高知(医)					1	0
富山(医)	1	0	1	1		
信州(医)			1	1		
横浜国立(医)					1	1
旭川医科大(医)			1	0		
その他の医学部と他学部					1	1
医歯薬 国公立 計	2	1	3	2	4	3

私立のうち医歯薬系

	2024		2023		2022	
	全体	現役	全体	現役	全体	現役
東京慈恵会医科(医)	1	1				
東邦(医)	2	0	1	1	1	1
日本医科(医)	1	1	2	1		
東京医科(医)	1	1	2	0	3	2
昭和(医)	1	0	3	2	2	1
北里(医)	1	0	2	1	3	2
杏林(医)	4	2			4	2
順天堂(医)			1	1	2	2
聖マリアンナ医科(医)			2	0	2	0
日本歯科(歯)	2	2	1	1	2	1
北里(薬/獣/看/衛)	5	5	2	2	4	4
杏林(看)	1	1	1	1	4	4
慶應義塾(薬/看)	1	1				
順天堂(看/医療)	1	1				
昭和(歯/薬/看)					1	1
東京薬科(薬)	3	3	3	3		
その他の医学部と他学部	32	25	23	16	35	21
医歯薬 私立 計	56	43	43	29	63	41

指定校推薦依頼および進学実績 (2024年3月卒業)

※2024年2月1日現在

大学	学部	学科	推薦依頼数	進学実績 2024年3月卒	進学実績				
					2023	2022	2021	2020	2019
慶應義塾大学	法学部		1	1	1	1	1	1	1
	商学部		2	2	2	2	2	2	2
	理工学部		1	1	1	1	1	1	
早稲田大学	基幹理工学部	毎年指定学科が変わる	1	1		1	1	1	1
	創造理工学部		1	1	2	2	4	3	1
	先進理工学部	毎年指定学科が変わる	1	1	1	1	1	1	1
	人間科学部	各学科1名まで	2	2	2	2	2	2	2
上智大学	文学部	フランス文学科	1		1	1	1	1	1
	法学部	法律学科	1	1	1	1	1	1	1
		地球環境法学科	1	1	1	1	1	1	1
	経済学部	経済学科	1	1	1	1	1	1	1
		経営学科	1	1	1	1	1	1	1
	総合グローバル学部	総合グローバル学科	1	1	1	1	1	1	1
理工学部	物質生命理工学科	1	1	1	1	1	1	1	
中央大学	法学部	法律学科	2	2	2	2	2	2	2
		政治学科	1	1	1	1	1	1	1
	商学部		1	1	1	1			
	経済学部		1	1	1				
	理工学部	複数学科を指定	3	2	1	2			
	国際情報学部		1	1		1	1		
立教大学	文学部	史学科	1	1		1	1	1	1
	スポーツウェルネス学部		1	1					
	現代心理学部	心理学科	1	1	1	1	1	1	1
		映像身体学科	1	1	1	1	1	1	1
	観光学部	交流文化学科	1	1	1	1	1	1	1
法政大学	法学部	政治学科	1	1	1	1	1	1	1
	グローバル教養学部	グローバル教養学科	1				1		
明治大学	総合数理学部	ネットワークデザイン学科	1	1	1	1		1	
国際基督教大学			1	1	1	1	1	1	
学習院大学	文学部		1			1	1	1	1
	理学部	各学科	各1 (数学科のみ2)			1			
東京理科大学	理学部第一部		1	1	1	1	1	1	1
	薬学部	薬学科	1	1	1	1	1	1	1
		生命創薬科学科	1	1	1	1	1	1	1
	創域理工学部	複数学科を指定	5	2			1	1	1
	先進工学部	複数学科を指定	3	1	1			1	1
	工学部	複数学科を指定	3	2					
	経営学部	経営学科	1	1	1	1	1		
国際デザイン経営学科		1	1	1	1	1			
東海大学	工学部	航空操縦専攻	1	1	1	1	1	1	
桜美林大学	航空・マネジメント学群	フライト・オペレーションコース	1	1	1	1			
北里大学	医学部	医学科	2	1	1	2	2	1	
	薬学部		1	1	1	1	1	1	
	獣医学部	獣医学科	1	1	1	1	1	1	
獨協医科大学	医学部	医学科	無制限		1				
日本歯科大学	生命歯学部		1	1	1		1		
昭和大学	歯学部		1		1			1	
同志社大学	商学部		1	1	1	1	1	1	
	文化情報学部		1	1	1	1	1	1	
	法学部		1		1		1		
関西学院大学	国際学部		1						
	文学部	毎年指定学科が変わる	1	1		1	1		
	総合政策学部		1			1			
	現代教養学部		2		1	1	1	2	
東京女子大学	数理科学科		2						

※斜線は依頼なし (未確認含む)。空欄は応募者なし。*医学部に関しては、合格者数の表記。

その他の主な指定校推薦依頼

大学	学部など	大学	学部など
武蔵野美術大学	造形構想学部	日本大学	松戸歯学部
女子栄養大学	栄養学部	明治薬科大学	薬学科
東京薬科大学	薬学部		生命創薬科学科
東京歯科大学	生命科学部	立命館アジア	アジア太平洋学部
東京歯科大学	歯学部	太平洋大学	国際経営学部
芝浦工業大学	工学部	東京農業大学	各学部

※年度により応募状況が異なるが、進学実績のあるもの。

学校推薦型(指定校除く)・総合型・帰国生入試など 合格実績

<2024年3月卒>

※2024年3月26日現在

国公立大学	学部など	合格者数	私立大学	学部など	合格者数	私立大学	学部など	合格者数
筑波大学	医療科学	1	早稲田大学	人間科学	1	中央大学	文	1
東京農工大学	農	1	上智大学	文	1	中央大学	国際経営	1
横浜国立大学	都市科学	2		外国語	1	東京医科大学	医	1
国際教養大学	国際教養	1		経済	1	日本獣医生命科学大学	獣医	1
				総合人間科学	1	麻布大学	獣医	2
			東京理科大学	理	1	星薬科大学	薬	1
			工	1	東京薬科大学	薬	1	
			立教大学	経済	1	日本大学	生命科学	1
				観光	1	立命館アジア太平洋大学	国際経営	2
青山学院大学				異文化	1	玉川大学	文	1
				文	2	東洋大学	食環境	1
				地球社会	1	日本女子大学	理	1
明治大学				コミュニティ	1	東京都市大学	理工	1
				理工	2	桜美林大学	健康福祉	1
				国際日本	1			

<2023年3月卒>

国公立大学	学部など	合格者数	私立大学	学部など	合格者数	私立大学	学部など	合格者数
東京大学	工	1	慶應義塾大学	文	1	学習院大学	経済	1
東北大学	法	1	早稲田大学	環境情報	1	中央大学	経済	1
東京工業大学	環境社会	1		国際教養	3	中央大学	理工	1
東京外国語大学	言語文化	1	上智大学	国際教養	4	国際基督教大学	教養	3
東京農工大学	工	1		経済	1	埼玉医科大学	医	1
北海道大学	水産	1		文	2	芝浦工業大学	建築	1
千葉大学	教育	1		神	1	多摩美術大学	美術	1
			立教大学	文	2	東京薬科大学	薬	1
				社会	2	日本赤十字看護大学	看護	1
				現代心理	1	関西大学	社会	1
青山学院大学				文	1			
				地球社会	2			

<2022年3月卒>

国公立大学	学部など	合格者数	私立大学	学部など	合格者数	私立大学	学部など	合格者数
筑波大学	理工	1	慶應義塾大学	法	2	中央大学	文	1
東北大学	工	1		総合政策	1		中央大学	国際経営
神奈川保健福祉大学	保健福祉	1		文	2	中央大学	理工	1
			早稲田大学	環境情報	3	国際基督教大学	教養	2
				国際教養	2	日本大学	歯	1
				文化構想	1	北里大学	薬	1
				政治経済	1	立命館アジア太平洋大学	アジア太平洋	1
			上智大学	外国語	2	桜美林大学	リベラルアーツ	1
				文	3	学習院大学	文	1
				法	1	杏林大学	保健	1
				総合人間科学	1	國學院大学	人間開発	1
明治大学				国際教養	6	昭和女子大学	人間社会	1
				文	1	多摩美術大学	美術	1
				理工	1	帝京大学	薬	1
立教大学				経済	1	日本体育大学	医療技術	1
				社会	1	日本体育大学	体育	1
青山学院大学				異文化コミュニケーション	1	日本獣医生命科学大学	獣医	2
				文	2	麻布大学	獣医	1
				地球社会	1	崇城大学	工	1

成蹊を知る

学
習

国際理解教育

学校生活

大学進学

中学入試

高校入試

その他

Q
&
A

中学入試

中学校入試の概要 (2025年度)

入試種別	試験日	WEB出願期間	合格発表
一般入試 ▶P.29	第1回 2025年2月1日(土)	2025年1月10日(金) 9:00 ～ 1月27日(月) 13:00	2025年2月2日(日) 15:00～
	第2回 2025年2月4日(火)	2025年1月10日(金) 9:00 ～ 1月27日(月) 13:00 2025年2月2日(日) 9:00 ～ 2月3日(月) 15:00	2025年2月4日(火) 21:00～
	帰国生枠 2025年2月1日(土)	2025年1月10日(金) 9:00 ～ 1月18日(土) 13:00	2025年2月2日(日) 15:00～
国際学級入試 (第1学年 4月入学) ▶P.34	2024年12月23日(月)	2024年11月26日(火) 9:00 ～ 12月2日(月) 13:00	2024年12月23日(月) 19:00～
中学2年生 帰国生編入試 ▶P.36	2024年12月23日(月)	2024年11月26日(火) 9:00 ～ 12月2日(月) 13:00	2024年12月23日(月) 19:00～
(2024年度)			
国際学級入試 (第1学年 9月編入) ▶P.37	2024年7月4日(木)	2024年6月17日(月) 9:00 ～ 6月21日(金) 13:00 2024年6月27日(木) 9:00 ～ 6月28日(金) 15:00	2024年7月4日(木) 17:00～

入試全般に関する注意事項

- ・WEB出願サイトから出願のうえ、必要書類を提出してください。
- ・受験生が法定感染症または学校感染症に感染している場合は、受験できません。
- ・入学試験当日、本校へ向かう途中でJR中央線、京王井の頭線、西武新宿線に大幅な遅延が生じた場合、本校ホームページで学校の対応をご確認ください。
- ・入学試験実施中に地震など災害が発生した場合、保護者の方にお迎えをお願いすることがあります。

インターネットによる出願・合格発表・入学手続について

- ・開始直後や終了直前は非常に多くの方のアクセスが予想され、つながりにくくなる場合があります。時間には余裕をもって手続を行ってください。
- ・パソコンの操作方法およびインターネットの閲覧方法に関するお電話でのお問い合わせはご遠慮ください。

入学辞退に伴う入学金を除く納付金の返還について

いったん納入された入学金はお返しいたしません。2025年3月31日(月) 15:00までに本校所定の「入学辞退届」を提出された場合(郵送の場合は3月31日消印有効)には、入学金を除く納付金を返還いたします(国際学級9月編入は8月31日まで)。返還にかかる振込手数料は返還額から差し引かせていただきます。

(注) この募集概要については、2024年4月1日現在のものであり、予告なしに内容を変更することがあります。正確な内容は、必ず募集要項にてご確認ください。

一般入試、国際学級入試(第1学年 4月入学)、中学2年生帰国生編入試の募集要項は2024年9月28日(土)より、国際学級入試(第1学年 9月編入)の募集要項は2024年4月1日(月)より、それぞれ成蹊中学・高等学校のホームページにて公開します。

(1) 一般入試

① 一般入試 2025年度募集概要

	第1回	第2回	
募集人数	第1学年 男子約45名 女子約45名	第1学年 男子約20名 女子約20名	
応募資格	2011年4月2日から2013年4月1日までに出生した者で 2025年3月31日までに小学校を卒業または卒業見込みの者		
入学料	30,000円	30,000円	
	同時出願の場合は2試験で50,000円。 * 出願を同時に行わなかった場合には、入学料の減免は適用されません。		
出願方法	WEB出願サイトから出願のうえ、必要書類を提出してください。 * URLは募集要項(注)にてご確認ください。		
WEB出願情報入力	2024年12月20日(金)～		
WEB出願期間 書類提出期間	2025年1月10日(金)9:00 ～1月27日(月)13:00 ↓ [郵送] 2025年1月28日(火)必着	2025年1月10日(金)9:00 ～1月27日(月)13:00 ↓ [郵送] 2025年1月28日(火)必着	2025年2月2日(日)9:00 ～2月3日(月)15:00 ↓ [窓口] 2025年2月3日(月) 10:00～15:00
	(1) 志願者シート (2) 成績通知表(表紙を含む全ページ)のコピー 提出方法等については、募集要項(注)にてご確認ください。		
試験日時 場所	2025年2月1日(土) 中学・高等学校 校舎	2025年2月4日(火) 中学・高等学校 校舎	
	集合は8:00、試験は8:30～12:25の間に行う予定です。		
選考方法	筆記試験 国語・算数(各50分・100点)・社会・理科(各30分・50点) 出願書類 以上を総合して合格者を選考します。 ※面接はありません。		
合格発表	校内掲示板:2025年2月2日(日)15:00 本校HP:2025年2月2日(日)15:00～15:30 合否確認サイト:2025年2月2日(日)15:00	校内掲示板:2025年2月5日(水)10:00 本校HP:2025年2月4日(火)21:00～21:30 合否確認サイト:2025年2月4日(火)21:00	
	* 個別のお問い合わせには応じることができません。		
合格証交付 ・入学手続 ・線上合格発表	詳細は募集要項(注)にてご確認ください。		

(注) 募集要項は2024年9月28日(土)より成蹊中学・高等学校のホームページにて公開します。

国 語

出題の方針

1. いろいろな形態のまとまった文章を読む力を見ます。
2. 文学的文章では、状況を把握し、心情を理解する力を主に測ります。
3. 説明的文章では、論旨や、筆者の主張を正確につかむ力を主に測ります。
4. 記述問題では、文中の言葉をつなぎ合わせるだけでなく、理解したことを自分の言葉で的確に表現する力があるかどうかを主に測ります。

問題の傾向

1. 長文読解問題（文学的文章と説明的文章）を出題しています。
2. 理解力と表現力を確認するために、50字から100字前後の記述式問題を出題しています。
3. 接続詞、指示語、語句説明、漢字などの基本的な問題も出題しています。
4. 選択肢の問題であっても、全体を把握したうえで答えるような出題をしています。

受験の準備

1. 日ごろから文章に親しむようにしてください。
2. 要約や心情説明などは、選択式の設問だけでなく実際に書く中で力を養ってください。
3. 小学校6年間で学ぶ漢字、語句の意味を正確に習得してください。
4. 家族や友人とのコミュニケーションやさまざまな生活体験を通じ、日ごろから自分自身の考えを持つとともに、他者の考え方や感じ方を知り、感性と思考力をみがいてください。

昨年度の入試

1. 日頃から、「全体的視野」に立って長文を読む練習をしましょう。文学的文章、説明的文章ともに、設問傍線部の前後だけで答えを出そうとすると点数につながりません。また、設問の意図を取り違えないように、問題文をよく読むことも重要です。
2. 文学的文章の問題では、登場人物の心情の動きを把握することが大切です。登場人物が「なぜそのような行動をしたのか」「なぜそう思ったのか」を考えましょう。全体を読まないと思いつきで答えてしまうおそれもあります。
3. 説明的文章の問題は、筆者の意見を正確に受け止めることが大切です。筆者の意見をきちんと整理しましょう。
4. 100字前後で答える記述問題は、文章全体をふまえて書く力が必要です。文中から書き抜いてつなげるのではなく、文中の言葉を使いながらまとめて、説明できるようにしましょう。
5. 漢字の問題は、楷書で大きくはっきりと、文字の形を正確にとらえて書きましょう。
6. 漢字・接続詞・語彙の問題は合格者のほとんどが満点でした。

算 数

出題の方針

1. 正確な計算力をベースにした算数の力が身についているかどうかを確認します。
2. どの分野からも偏りなく出題することを心がけています。

問題の傾向

1. 計算問題は必ず出題します。
2. 「〇〇算」「図形」「割合・比」「2つの量の変わり方」など、どの参考書や問題集にも載っている典型的な問題を多く出題します。
3. 典型的な問題を組み合わせた応用問題も出題します。
4. いわゆる難問といわれるものも、出題することがあります。

受験の準備

1. 計算問題は簡単な問題から少し複雑なものまで何度も練習して、短い時間で正確にできるようにしておいてください。
2. 典型的な問題も繰り返し解くことにより、しっかりと身につけておいてください。
3. 応用問題は典型的な問題の組み合わせなので、何と何が組み合わされているかを見抜くことがカギです。大切なのは、問題内容をきちんと理解し、多少時間がかかっても自力で考え抜くことです。
4. 難問が解けなかったといって不合格になることはほとんどありません。一方、算数の得意な受験生は、ここで差をつけることができます。

昨年度の入試

第1回入試

1. ①(1)〈計算〉、②(1)(2)〈食塩水、和差算〉、④(1)①〈規則性〉、⑤(1)〈角度〉は受験生の多くが正解していました。
2. 合否を分けたと思われる問題は、①(2)〈分数、小数を含む計算〉、②〈角度、割合、角度、相当算、体積、図形〉、③〈ニュートン算〉、④(1)②、(2)〈規則性〉、⑤(2)〈図形〉、⑥(1)(2)〈動点とグラフ〉でした。

第2回入試

1. ①〈計算〉、②(1)(2)(4)(6)〈つるかめ算、相当算、速さ、推理〉、③(1)(2)〈三角形の面積の比〉、⑤(1)〈水の量の変化とグラフ〉、⑥(1)〈規則性〉は受験生の多くが正解していました。
2. 合否を分けたと思われる問題は、②(3)〈角度〉、④〈食塩水〉、⑤(2)(3)ア〈水の量の変化とグラフ〉、⑥(1)②〈規則性〉でした。

昨年度の入試の第1回では、⑤(3)〈水の量の変化とグラフ〉、⑥(3)イ(4)〈規則性〉が難しかったようです。第2回では、③(3)〈三角形の面積の比〉、⑤(3)イ〈水の量の変化とグラフ〉、⑥(1)③(2)〈規則性〉が難しかったようです。

第1回、第2回ともに合格者の多くは②の小問や③以降の前半の問題で確実に正解しています。日頃から様々な分野の問題を考え、不得意分野をなくすよう努力すると、慌てることなく、力を発揮しやすくなると思います。

社 会

出題の方針

1. 授業の方針（前述、P.6）を反映した入学試験を行っています。多くの知識量を必要とせず、基本的な知識の理解度を問うような問題と、問題の中で展開されている情報・資料からその場で新たな知識を得ることが出来ているかどうかを見る問題が中心です。
2. 歴史分野の問題と公民分野の問題の2題で構成されています。
3. 歴史分野の出題範囲は江戸時代以降です。
4. 問題には地理の要素が加わります。
5. 出題形式は以下の通りです。
 - ① 問題は「歴史」、「公民」、各1題出題されますので、全体として2題の構成です。
 - ② 2題のうちの1題が長い問題文と資料の読解を中心とする大きめな問題で、論述による解答を必要とします。この問題の点数が6～7割の比重となります。
 - ③ もう1題は、資料などを正確に読み取った上で、単語で答えたり、記号を選んだり、記述したり、というような形式で解答する小さめな問題です。この問題の点数が3～4割の比重となります。
 - ④ 大きめな問題と、小さめな問題の組み合わせは下記のいずれかです。
 - a) 大きめな問題の「歴史」+ 小さめな問題「公民」
 - b) 大きめな問題の「公民」+ 小さめな問題「歴史」

問題の傾向

1. 歴史分野は、きちんと教科書で学習していれば答えられるように出題します。
公民分野は、現在の社会問題に焦点をあて、具体的素材と共に出題します。日本国憲法に関する設問が必ずあります。
2. 本文の中には設問で要求されている記述の答えが隠されています。

受験の準備

1. 資料を読み取り、そこから浮かび上がることの意味を説明する問題に慣れてください。
2. 記述の問題では、自分の考えを正確に読み手に伝えるように努めてください。
3. 歴史分野では、事件の名称を覚えるだけでなく、原因と結果も記述できるようにしておくとい良いでしょう。
4. 公民分野では、憲法の重要な点を十分に勉強してください。ニュース番組や新聞に親しむことが特に重要です。

昨年度の入試

1. 文字を正確に書かずに失点、減点される受験生がいました。G7首脳の画像など、TVニュースを見ていれば分かる問題の誤答がありました。
2. 自分の知識、思い込みで答えて失敗しています。問題文や資料から読み取った情報と、自分が持っている知識の両方を上手に使い、「問われていること」への答えを導き出してください。どれだけたくさんの知識を持っているかということよりも、さまざまな情報から課題を見つけたり、問題となっていることを理解し、それを説明する力を重視しています。

理 科

出題の方針

1. 小学校理科のいろいろな分野からまんべんなく出題し、基礎知識を幅広く問います。基本的に4科目（物理・化学・生物・地学）から各1題ずつ出題します。
2. 答えを選択する問題の他、文章で答える問題、計算問題なども出題します。

問題の傾向

1. 本校での授業の中心となる実験・観察を取り上げた問題が毎年出題されています。
2. 図やグラフを用いた問題も毎年出題され、データ読み取り、考察が重要視されています。

受験の準備

1. 学校で行った観察や実験のねらい・方法・結果を整理し、理解しておいてください。特に、身の回りの自然の様子や仕組みに幅広く目を向けることが大切です。観察・実験の結果と併せて、実験の方法や器具の使い方、さらには結論を導く過程をも理解し身につけることが必要です。
2. 3年生から6年生までの教科書の内容をしっかりと学習してください。低学年での学習内容も、今のあなたの目で見たと身の回りの事物や現象を対象にして復習してください。
3. 新聞・テレビなどで、自然や科学に関する話題について興味を持つことも大切です。理解できない事柄も多いかもしれませんが、興味を持ち、理解しようとする姿勢が理科の学習の出発点になります。

昨年度の入試

1. 第1回は①生物、②物理、③化学、④地学でした。①と②は6割強の正答率、③と④は6割を若干下回る正答率でした。第2回も①生物、②物理、③化学、④地学でした。①は7割強、③は7割弱と正答率が高く、②も6割強の正答率でしたが、④は正答率が低めでした。
2. 4科目から1題ずつ出題されています。解答までの手順が多い問題ほど、正答率が低い傾向にありました。初見の問題に対しても知らないとききらめるのではなく、問題文の誘導に従って、何とか対応しようとする意気込みを見せてもらいたいと思います。また、理由や説明を求める問題へ対処するトレーニングをしておくとい良いでしょう。
明らかに見当違いな解答が見受けられました。単に自分の知識を書き記すのではなく、本文中の説明をヒントに、質問に応じた解答を心がけてください。
日頃から、他人に対して言葉や文章で自分の考えを正確に伝える練習をすることが大切です。学習している内容は理科かもしれませんが、問題文を読んで解答する形式は全ての教科に共通しています。文章を読み取り記述するということは、国語の力が重要であることを意味しています。

一般入試 入試結果

2024年度
(第1回)

試験日	2月1日(一般)		2月1日(帰国生枠)	
	男子 約45名	女子 約45名	男女合わせて若干名	
			男子	女子
募集人数				
応募者	161	121	3	2
受験者	138	109	3	2
合格者	59	52	2	0
繰上合格者	0	0	0	0
倍率	2.3	2.1	1.5	-
受験者平均点				
国語	58.7	66.5	一般と同じ	
算数	51.2	56.1		
社会	32.0	31.9	-	-
理科	31.8	31.5	-	-
合格者平均点				
国語	65.6	72.8	一般と同じ	
算数	64.0	70.5		
社会	35.9	35.0	-	-
理科	36.4	35.5	-	-
合格最高点	240	251	非公表	
合格最低点	180	195		

(第2回)

試験日	2月4日	
	男子 約20名	女子 約20名
募集人数		
応募者	279	240
受験者	158	144
合格者	56	46
繰上合格者	0	0
倍率	2.8	3.1
受験者平均点		
国語	61.0	67.6
算数	64.7	64.0
社会	34.2	35.6
理科	33.5	34.9
合格者平均点		
国語	67.9	74.4
算数	78.8	77.3
社会	38.7	39.0
理科	37.5	37.9
合格最高点	255	282
合格最低点	206	215

2023年度
(第1回)

試験日	2月1日(一般)		2月1日(帰国生枠)	
	男子 約45名	女子 約45名	男女合わせて若干名	
			男子	女子
募集人数				
応募者	182	170	4	3
受験者	160	157	3	3
合格者	76	57	0	1
繰上合格者	0	0	0	0
倍率	2.1	2.8	-	3.0
受験者平均点				
国語	56.6	65.1	一般と同じ	
算数	66.7	67.0		
社会	37.2	37.6	-	-
理科	31.2	31.7	-	-
合格者平均点				
国語	61.6	71.0	一般と同じ	
算数	77.9	81.5		
社会	39.7	41.2	-	-
理科	33.8	34.9	-	-
合格最高点	244	257	非公表	
合格最低点	199	217		

(第2回)

試験日	2月4日	
	男子 約20名	女子 約20名
募集人数		
応募者	328	265
受験者	185	161
合格者	33	45
繰上合格者	2	0
倍率	5.6	3.6
受験者平均点		
国語	61.0	67.2
算数	60.1	60.5
社会	30.4	32.2
理科	30.6	30.1
合格者平均点		
国語	68.8	72.9
算数	81.5	81.2
社会	36.1	37.7
理科	34.3	34.5
合格最高点	251	267
合格最低点	211	209

2022年度
(第1回)

試験日	2月1日(一般)		2月1日(帰国生枠)	
	男子 約45名	女子 約40名	男女合わせて若干名	
			男子	女子
募集人数				
応募者	227	168	9	2
受験者	201	149	9	1
合格者	72	56	3	1
繰上合格者	0	0	0	0
倍率	2.8	2.7	3.0	1.0
受験者平均点				
国語	60.3	70.1	一般と同じ	
算数	52.4	57.6		
社会	31.5	33.6	-	-
理科	28.3	29.0	-	-
合格者平均点				
国語	68.0	76.6	一般と同じ	
算数	67.3	72.9		
社会	36.2	37.5	-	-
理科	32.2	31.4	-	-
合格最高点	234	258	非公表	
合格最低点	185	204		

(第2回)

試験日	2月4日	
	男子 約25名	女子 約20名
募集人数		
応募者	346	300
受験者	199	193
合格者	45	34
繰上合格者	2	2
倍率	4.4	5.7
受験者平均点		
国語	46.8	57.9
算数	61.9	67.4
社会	29.1	31.9
理科	29.2	31.6
合格者平均点		
国語	58.6	71.7
算数	78.0	87.1
社会	35.0	38.5
理科	34.4	36.2
合格最高点	243	265
合格最低点	191	221

② 一般入試(帰国生枠) 2025年度募集概要

募集人数	第1学年 男女合わせて 若干名
応募資格	次の要件を全て満たした者。 (1) 保護者の勤務の都合で1年以上海外に在住した者。 (2) 海外の学校(現地校、日本人学校、インターナショナル校等)に1年以上在籍していた者(幼稚園は除く)。 (3) 2022年12月1日以降に帰国した者、または帰国予定の者。 (4) 2011年4月2日～2013年4月1日までに出生した者。 * 在外期間中に在籍した学校の種別(現地校、日本人学校、インターナショナル校)は問いません。 * 応募資格についてご不明な点は、お問い合わせください。
入学考査料	30,000円 * 一般入試(第2回)と同時出願の場合は2試験で50,000円 (出願を同時に行わなかった場合には、入学考査料の減免は適用されません。)
出願方法	WEB出願サイトから出願のうえ、必要書類を提出してください。 * URLは募集要項(注)にてご確認ください。
WEB出願情報入力	2024年12月20日(金)～
WEB出願期間 書類提出期間	2025年1月10日(金)9:00～1月18日(土)13:00 ↓ [郵送] 2025年1月21日(火)必着
提出書類	(1) 志願者学歴書 (2) 在外勤務証明書 (3) 在学証明書 (4) 志願者シート 提出方法等については、募集要項(注)にてご確認ください。
試験日時 場所	2025年2月1日(土) 集合は8:00、試験開始は8:30、面接は11:00から行う予定です。 中学・高等学校 校舎
選考方法	筆記試験 国語・算数(各50分・100点) 面接(受験生本人のみ) 出願書類 以上を総合して合格者を選考します。
合格発表	一般入試(第1回)と同じです。P.29をご参照ください。
合格証交付	
入学手続	
繰上合格発表	

(注) 募集要項は2024年9月28日(土)より成蹊中学・高等学校のホームページにて公開します。

一般入試(帰国生枠) 入試科目の傾向と対策

〈国語・算数〉

P.30をご参照ください。

(2) 国際学級入試 (第1学年 4月入学) 2025年度募集概要

募 集 人 数	第1学年 男女合わせて 約15名 *状況により2次募集を実施することがあります。
応 募 資 格	次の要件を全て満たした者。 (1) 保護者の勤務の都合で2年以上海外に在住した者。 (2) 現地校 または インターナショナル校 (幼稚園は除く) に2年以上在籍していた者。 (3) 2022年12月1日以降に帰国した者、または帰国予定の者。 (4) 2011年4月2日～2013年4月1日までに出生した者。 * 応募資格についてご不明な点は、お問い合わせください。
入 学 考 査 料	30,000円
出 願 方 法	WEB出願サイトから出願のうえ、必要書類を提出してください。 * URLは募集要項 (注) にてご確認ください。
WEB出願情報入力	2024年11月1日 (金) ～
WEB出 願 期 間 書 類 提 出 期 間	2024年11月26日 (火) 9:00～12月2日 (月) 13:00 ↓ [郵送] 2024年12月6日 (金) 必着
提 出 書 類	(1) 志願者学歴書 (2) 在外勤務証明書 (3) 在学証明書 提出方法等については、募集要項 (注) にてご確認ください。
試 験 日 時 場 所	2024年12月23日 (月) 集合は8:30、試験開始は8:50、面接は13:00から行う予定です。 中学・高等学校 校舎
選 考 方 法	筆記試験 国語・算数・英語 (各50分・100点) 面接 (受験生本人のみ) 以上を総合して合格者を選考します。
合 格 発 表 (補 欠 者 発 表)	校内掲示板: 2024年12月24日 (火) 10:00 本校HP: 2024年12月23日 (月) 19:00～19:30 合否確認サイト: 2024年12月23日 (月) 19:00 * 個別のお問い合わせには応じることができません。
合 格 証 交 付 ・ 入 学 手 続 ・ 繰 上 合 格 発 表	詳細は募集要項 (注) にてご確認ください。

(注) 募集要項は2024年9月28日 (土) より成蹊中学・高等学校のホームページにて公開します。

国際学級入試(第1学年 4月入学) 入試科目の傾向と対策

国 語

出題の方針

1. 「説明的文章」と、日本語で400字前後の「作文」を出題しています。
2. 「説明的文章」は、一般入試とほぼ同程度のレベルで出題しています。一般入試と同様に、論旨や、筆者の主張を正確につかむ力を主に測ります。
3. 漢字の読み書き問題は必ず出題します。
4. 「作文」は、自分なりの考えを短時間でまとめ、しっかりと表現できるかどうかを主に測ります。

問題の傾向

1. 「説明的文章」問題では、理解力と表現力を確認するため、記号や抜き出し問題の他に、記述問題も出題しています。
2. 選択肢の問題であっても、全体を把握したうえで答えるような出題をしています。
3. 漢字問題では、難解な漢字の書き取りよりも、文脈から判断して的確な漢字を書く力を重視しています。
4. 「作文」は、まず筆者の意見を読み取る小問に答え、その上で自分の考えを展開してもらいます。テーマは、文化の違い、言葉について、自分を見つめる、など多角的に受験生の問題意識を問うています。「説明的文章」問題のテーマの延長線上で考えてもらう場合もあります。

受験の準備

問題集をただ解くだけというような小手先の技術に走らず、日ごろから次のことを意識してください。

1. 文章を読む習慣、書く習慣を身につけてください。
2. 何事にも関心を持ち、自分で考える習慣を身につけてください。
3. 日本語は、英語などと違い、「文末決定性」という特色を持っています。最後まで聞かないと、見たのか見なかったのか、思ったのか思わなかったのか、分かりません。すぐに分かったつもりにならず、最後まで相手の意見を聞くという習慣こそが、国語の読解力をつけるために最も大切なことです。日ごろのコミュニケーションを大切にすることも忘れないでください。

算 数

出題の方針

1. 正確な計算力をベースにした算数の力が身についているかどうかを確認します。
2. どの分野からも偏りなく出題することを心がけています。

問題の傾向

1. 計算問題は必ず出題します。

2. 「〇〇算」「図形」「割合・比」「2つの量の変わり方」など、どの参考書や問題集にも載っている典型的な問題を多く出題します。

受験の準備

1. 計算問題は簡単な問題から少し複雑なものまで何度も練習して、正確にできるようにしておいてください。
2. 典型的な問題も繰り返し解くことにより、しっかりと身につけておいてください。

英 語

出題の方針

1. 身近なものに関する単語力を問います。
2. 読解力を問います。
3. 英文を組み立てたり、物事を英語で説明したりするための文法力を問います。
4. 自分の経験をもとに、英語で意見や考えを書く力を問います。

問題の傾向

<読む問題>

1. 文章の全体または細部の内容把握が正確に出来ているかを測ります。
2. 文章の論理展開を掴む力があるかどうかを測ります。

<書く問題>

1. 単語に関する問題で、身近な語彙を習得しているかを測ります。
2. 英文を組み立てる力や理解力・語彙力・文法力・説明力を測ります。
3. 身近な話題についての単語や文法、文章構成力や内容が総合的に十分であるかを測ります。

受験の準備

1. 単語は読めるだけ・意味を知っているだけでなく、つづりを正確に書けるようにしておいてください。
2. まとまった文章の情報や大意を正確に把握する練習をしておいてください。文章は小説のようなものから説明的文章まで様々なジャンルを読んでおくとい良いでしょう。
3. 語順を意識して、身の回りの物事を英語で説明する練習をしておいてください。
4. 身近なテーマに関してまとまった文章を書く練習を実際に行ってみてください。はじめは短くても良いので正確に書き、徐々に量や時間配分にも注意していきましょう。

(3) 中学2年生帰国生編入試 2025年度募集概要

募 集 人 数	第2学年 男女合わせて 若干名
応 募 資 格	次の要件を全て満たした者。 (1) 保護者の勤務の都合で1年以上海外に在住した者。 (2) 海外の学校(現地校、日本人学校、インターナショナル校等)に1年以上在籍していた者(幼稚園は除く)。 (3) 2023年12月1日以降に帰国した者、または帰国予定の者。 (4) 2010年4月2日～2012年4月1日までに出生した者。 * 在外期間中に在籍した学校の種別(現地校、日本人学校、インターナショナル校)は問いません。 * 応募資格についてご不明な点は、お問い合わせください。
入 学 考 査 料	30,000円
出 願 方 法	WEB出願サイトから出願のうえ、必要書類を提出してください。 * URLは募集要項(注)にてご確認ください。
WEB出願情報入力	2024年11月1日(金)～
WEB出 願 期 間 書 類 提 出 期 間	2024年11月26日(火)9:00～12月2日(月)13:00 ↓ [郵送] 2024年12月6日(金)必着
提 出 書 類	(1) 志願者学歴書 (2) 在外勤務証明書 (3) 在学証明書 提出方法等については、募集要項(注)にてご確認ください。
試 験 日 時 場 所	2024年12月23日(月) 集合は8:30、試験開始は8:50、面接は13:00から行う予定です。 中学・高等学校 校舎
選 考 方 法	筆記試験 国語・数学・英語(各50分・100点) 面接(受験生本人のみ) 以上を総合して合格者を選考します。
合 格 発 表 (補 欠 者 発 表)	校内掲示板: 2024年12月24日(火)10:00 本校HP: 2024年12月23日(月)19:00～19:30 可否確認サイト: 2024年12月23日(月)19:00 * 個別のお問い合わせには応じることができません。
合 格 証 交 付 ・ 入 学 手 続 ・ 繰 上 合 格 発 表	詳細は募集要項(注)にてご確認ください。

(注) 募集要項は2024年9月28日(土)より成蹊中学・高等学校のホームページにて公開します。

中学2年帰国生編入試(4月入学) 入試科目の傾向と対策

個々に異なる教育経験を勘案し、本校に編入学して無理なく学習が可能であるかを慎重に検討して合格者を決定しています。出題範囲は、「学習指導要領」に基づく中学1年生までの学習範囲です。ただし下記のことを考慮しています。

- 1) 試験が行われる時点ではその学年の学習範囲の全ては終えていない。
- 2) 「学習指導要領」にはどの時期までにどの部分を学習する、というようなスケジュールが必ずしも明示されておらず、個々の学校や使用している教科書によって異なります。このため、出題内容としては中学1年の範囲全体を視野に入れつつも採点には慎重を期して個々の受験生の学力を判断するように努めています。

〈国語〉

国際学級入試(1年生)と同様の問題形式をとっています。ただし、口語文法の初歩的な問題を含みます。

〈数学〉

中学1年生の学習範囲からまんべんなく、教科書の練習問題(章末問題程度を含む)を中心に出题しています。

〈英語〉

国際学級入試(1年生)と同様の問題形式をとっています。ただし日本の検定教科書で扱う「第1学年における言語活動」に必要な英語が身に付いているか測る問題も含みます。

(4) 国際学級入試 (第1学年 9月編入) 2024年度募集概要

募集人数	第1学年 男女合わせて 若干名	
応募資格	次の要件を全て満たした者。 (1) 保護者の勤務の都合で2年以上海外に在住した者。 (2) 現地校または インターナショナル校 (幼稚園は除く) に2年以上在籍していた者。 (3) 2022年6月1日以降に帰国した者、または帰国予定の者。 (4) 2010年4月2日～2012年4月1日までに出生した者。 * 応募資格についてご不明な点は、お問い合わせください。	
入学料	30,000円	
出願方法	WEB出願サイトから出願のうえ、必要書類を提出してください。 * URLは募集要項(注)にてご確認ください。	
WEB出願情報入力	2024年6月3日(月)～	
WEB出願期間 書類提出期間	2024年6月17日(月) 9:00 ～ 6月21日(金) 13:00 ↓ [郵送] 2024年6月24日(月) 必着	2024年6月27日(木) 9:00 ～ 6月28日(金) 15:00 ↓ [窓口] 2024年6月28日(金) 10:00～15:00
提出書類	(1) 志願者 学歴書 (2) 在外勤務 証明書 (3) 在学 証明書 提出方法等については、募集要項(注)にてご確認ください。	
試験日時 場所	2024年7月4日(木) 集合は8:30、試験及び面接は8:50～13:00の間に行う予定です。 中学・高等学校 校舎	
選考方法	筆記試験 国語・数学・英語(各50分・100点) 面接(受験生本人のみ) 以上を総合して合格者を選考します。	
合格発表 (補欠者発表)	校内掲示板: 2024年7月4日(木) 17:00 可否確認サイト: 2024年7月4日(木) 17:00 * 個別のお問い合わせには応じることができません。	
合格証交付 ・入学手続 ・繰上合格発表	詳細は募集要項(注)にてご確認ください。	

(注) 募集要項は成蹊中学・高等学校のホームページにて公開しています。

国際学級入試 (第1学年 9月編入) 入試科目の傾向と対策

〈国語・数学・英語〉

国語は、4月入学の試験問題の範囲に加え、ことばの単位を問う口語文法も出題範囲です。

数学は、4月入学の試験問題の範囲に加え、中1の正負の数、文字と式までが出題範囲です。英語については、4月入学の試験問題と同範囲、同レベルです。

国際学級入試 (第1学年 4月入学、9月編入) および中学2年生帰国生編入試 入試結果

国際学級入試 (第1学年 4月入学)

(2024年度)

募集人数	男女合わせて約15名	
	男子	女子
応募者	18	14
受験者	13	14
合格者	8	9
倍率	1.6	1.6
補欠発表	1	0
繰上合格者	1	0

国際学級入試 (第1学年 9月編入)

(2023年度9月入学)

募集人数	男女合わせて若干名	
	男子	女子
応募者	4	3
受験者	2	3
合格者	1	1
倍率	2.0	3.0
補欠発表	0	0
繰上合格者	0	0

中学2年生帰国生編入試

(2024年度)

募集人数	男女合わせて若干名	
	男子	女子
応募者	1	6
受験者	1	6
合格者	0	3
倍率	-	2.0
補欠発表	0	0
繰上合格者	0	0

(2023年度)

募集人数	男女合わせて約15名	
	男子	女子
応募者	20	19
受験者	15	14
合格者	13	11
倍率	1.2	1.3
補欠発表	0	0
繰上合格者	0	0

(2022年度9月入学)

募集人数	男女合わせて若干名	
	男子	女子
応募者	2	4
受験者	2	2
合格者	1	1
倍率	2.0	2.0
補欠発表	0	0
繰上合格者	0	0

(2023年度)

募集人数	男女合わせて若干名	
	男子	女子
応募者	2	2
受験者	2	2
合格者	2	2
倍率	1.0	1.0
補欠発表	0	0
繰上合格者	0	0

(2022年度)

募集人数	男女合わせて約15名	
	男子	女子
応募者	30	14
受験者	22	10
合格者	13	8
倍率	1.7	1.3
補欠発表	4	0
繰上合格者	2	0

(2021年度9月入学)

募集人数	男女合わせて若干名	
	男子	女子
応募者	4	1
受験者	4	1
合格者	1	1
倍率	4.0	1.0
補欠発表	0	0
繰上合格者	0	0

(2022年度)

募集人数	男女合わせて若干名	
	男子	女子
応募者	1	4
受験者	1	4
合格者	0	3
倍率	-	1.3
補欠発表	0	0
繰上合格者	0	0

高校入試

高校入試の概要 (2025年度)

入試種別	試験日	WEB出願期間	合格発表
一般入試 ▶P.40	2025年2月10日(月)	2025年1月25日(土) 9:00 ～1月30日(木) 13:00 2025年2月2日(日) 9:00 ～2月3日(月) 12:00(正)	2025年2月11日(火・祝) 15:00～
推薦入試 ▶P.43	2025年1月22日(水)	2025年1月15日(水) 9:00 ～1月17日(金) 13:00	2025年1月23日(木) 10:00～
帰国生入試 ▶P.44	2025年1月22日(水)	2024年12月20日(金) 9:00 ～ 2025年1月10日(金) 13:00	2025年1月23日(木) 10:00～
高等学校2年 編入試 ▶P.46	2025年3月14日(金)	2025年2月24日(月・祝) 9:00 ～3月5日(水) 13:00	2025年3月14日(金) 16:00～

入試全般に関わる注意事項

- ・WEB出願サイトから出願のうえ、必要書類を提出してください。
- ・受験生が法定感染症または学校感染症に感染している場合は、受験できません。
- ・入学試験当日、本校へ向かう途中でJR中央線、京王井の頭線、西武新宿線に大幅な遅延が生じた場合、本校ホームページで学校の対応をご確認ください。
- ・入学試験実施中に地震など災害が発生した場合、保護者の方にお迎えをお願いすることがあります。

インターネットによる出願・合格発表・入学手続について

- ・開始直後や終了直前は非常に多くの方のアクセスが予想され、つながりにくくなる場合があります。時間には余裕をもって手続きを行ってください。
- ・パソコンの操作方法およびインターネットの閲覧方法に関するお電話でのお問い合わせはご遠慮ください。

入学辞退に伴う入学金を除く納付金の返還について

- ・いったん納入された入学金はお返しいたしません。2025年3月31日(月) 15:00までに本校所定の「入学辞退届」を提出された場合(郵送の場合は3月31日消印有効)には、入学金を除く納付金を返還いたします(返還にかかる振込手数料は返還額から差し引かせていただきます)。

(注) この募集概要については、2024年4月1日現在のものであり、予告なしに内容を変更することがあります。

正確な内容は、必ず募集要項にてご確認ください。

募集要項は、2024年9月28日(土)より、成蹊中学・高等学校のホームページにて公開します。

成蹊を知る

学習

国際理解教育

学校生活

大学進学

中学入試

高校入試

その他

Q & A

(1) 一般入試 2025年度募集概要

募 集 人 数	第1学年 男女合わせて 約60名	
応 募 資 格	2008年4月2日から2010年4月1日までの出生で、2025年3月31日までに中学校を卒業または卒業見込みの者、あるいは、海外の学校において上記と同等と認められる者。	
入 学 考 査 料	30,000円	
出 願 方 法	WEB出願サイトから出願のうえ、必要書類を提出してください。 * URLは募集要項(注)にてご確認ください。	
WEB出願情報入力	2024年12月20日(金)～	
WEB出願期間 書類提出期間	2025年1月25日(土)9:00 ～1月30日(木)13:00 ↓ [郵送]2025年1月31日(金)必着	2025年2月2日(日)9:00 ～2月3日(月)12:00(正午) ↓ [窓口]2025年2月3日(月)10:00～12:00(正午)
提 出 書 類	(1) 調査書 提出方法等については、募集要項(注)にてご確認ください。	
試 験 日 時 所	2025年2月10日(月) 集合は8:10、試験開始は8:30、面接は13:10～16:00の間に行う予定です。 中学・高等学校 校舎	
選 考 方 法	○筆記試験 国語、数学、英語(リスニングを含む) (各60分・100点) ○受験生面接 ○出身校からの調査書審査 以上を総合して合格者を選考します。	
合 格 発 表 (補欠者発表)	校内掲示板:2025年2月11日(火・祝)15:00 本校HP:2025年2月11日(火・祝)15:00～15:30 合否確認サイト:2025年2月11日(火・祝)15:00 * 個別のお問い合わせには応じることができません。	
合 格 証 交 付 ・ 入 学 手 続	詳細は募集要項(注)にてご確認ください。	

他校併願の場合の延納について(一般入試・帰国生入試のみ)

他校併願者は、入学手続時納付金のうち、入学金を除くその他の費用について、都立高校第一次募集・分割前期募集合格発表日(前年度は2024年3月1日)15時まで延納することができます。

手続きの詳細は、募集要項(注)にてご確認ください。

(注) 募集要項は2024年9月28日(土)より成蹊中学・高等学校のホームページにて公開します。

国 語

出題の方針

1. さまざまな形態のまとまった文章を読む力を見ます。
2. 小説では、状況を把握し、心情を理解する力があるかどうか、表現上の工夫などを読む力を主に測ります。
3. 論説文では、論旨や、筆者の主張を正確につかむ力があるかどうかを主に測ります。
4. 古文では、内容把握が正確にできるかどうかを主に見ます。
5. 記述問題では、文中の言葉をつなぎ合わせるだけでなく、理解していることを自分の言葉で的確に表現する力があるかどうかを主に測ります。

問題の傾向

1. 長文（主に小説・論説文）と古文の読解問題が中心です。
2. 理解力と表現力とを確認するために、まとまった長さの記述問題を出題しています。
3. 接続詞、指示語、語句説明、漢字などの基本問題も出題しています。
4. 選択肢の問題であっても、全体を把握したうえで答えることを求める出題をしています。
5. 古文の問題では、文法や語彙などの知識ではなく、内容把握を主とした基本問題を出題しています。

受験の準備

1. 問題集をただ解くだけという小手先の技術に走らず、日常からできるだけ小説・論説文・古文に親しみ、読解力を身につけるようにしてください。
2. 小説では、状況や心情を丁寧に読み取り、それを実際に書いてみるという訓練の中で力を養っていきましょう。選択式の設問に答えられるだけでは不十分です。
3. 論説文では、論理の展開を正確に理解し、簡潔に記述できるよう練習しておいてください。
4. 古文では「誰が何をした」「誰がどう考え（感じ）た」かがつかめるよう、いくつかの文章を読み慣れておく必要があります。
5. 設問の意図を考え、各問でどのようなことが問われているか理解して解答するようにしてください。
6. 中学校までに学ぶ漢字、語句の意味を正確に習得しておいてください。

昨年度の入試

論説の問題については、多くの生徒が内容を把握してしっかりと解答できていました。ただ小説の問題では、登場人物の感情の変化を読みとることができていなかったり、問いの意図を正しくつかめていない解答が多かったのが残念です。登場人物の行動や発言、心情の変化などを細かく把握しながら読む訓練をしましょう。短編の小説を、なるべく多く読んでおくと良いでしょう。

古文の問題については、文中で起こった出来事を、メモを取るなどして把握しておけば、もっと正解に近づくことができましたと思います。

漢字の問題はよく書けていました。正しい書き順を意識して、大きく書く訓練をしておきましょう。

数 学

出題の方針

1. 正確な計算力をベースにした中学校の学習内容が身につけているかどうかを確認します。
2. どの分野からも偏りなく出題することを心がけています。

問題の傾向

1. 計算、図形などの基本問題は必ず出題します。
2. 関数、図形、文章題など、どの参考書や問題集にも載っているような典型的な問題も出題します。
3. 思考力を見るための応用問題も出題することがあります。

受験の準備

1. 基本問題は、何度も練習して、短時間で正確にできるようにしておいてください。
2. 典型的な問題も、繰り返し解くことにより、しっかりと身につけておいてください。
3. 応用問題は、じっくり時間をかけて自力で考え抜くことが大切です。それが解けなかったからといって慌てることはありませんが、応用力のある受験生は、ここで差をつけることができます。

昨年度の入試

各問題の得点率はおよそ、①80%、②90%、③70%、④50%、⑤40%で、今年は高得点勝負となりました。

①は、少々複雑な形の2次方程式の出来が思ったより良くなかったです。こういう問題は外せません。計算をするときには、なぜそのように計算するのかまでしっかり理解して練習をするようにすると良いでしょう。

②の文章題は、今年はかなり読みやすく、かつ数量関係もわかりやすい問題でした。

③は(2)で差がつかまりました。自分で未知数を文字でおいて立式する問題は、成蹊では頻出ですのでしっかり練習しておきましょう。

④はかなり易しいと思って出題したのですが、苦戦したようで差がつかまりました。一見複雑に見える図なので、欲しい情報をとることが難しかったのではと思われます。

⑤の空間図形は(1)は教科書通りで出来は良かったです。(2)は難しいと思われたので、①で誘導を付けましたがそれでも難しかったようです。数学が得意な生徒はここで差をつけることができたと思います。

英 語

出題の方針

1. 「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の3技能をテストします。
2. 国公立中学校における学習事項を逸脱しない範囲で出題します。

問題の傾向

1. 「聞くこと」の問題ではある程度まとまった文章を聞き、その内容が正しく把握できているかを測ります。
2. 「読むこと」の問題では、まとまった分量の英文を読み、内容を把握する問題が出ます。また、語彙、文法なども含まれます。
3. 「書くこと」の問題には、いわゆる英作文の問題や、あるテーマに基づいてまとまった文章を書く問題などが毎年出ます。

受験の準備

1. 日ごろから英語を聞く習慣を身につけておくとい良いでしょう。
2. 一定時間内にまとまった量の文を英語で読む習慣を身につけておきましょう。
3. いろいろなテーマに基づいて英語で文章を書けるように練習しておきましょう。

昨年度の入試

全体としては65%程度の正答率でした。全体量が多いので、素早く正確に情報を読み取る力が必要です。「聞くこと」に関しては、皆さん要点をよく聴き取れていました。「読むこと」に関しては、記号の問題はよくできていましたが、記述問題や、文章全体を理解しないと答えられない問題では正答率が下がりました。「書くこと」については、同じ内容の繰り返しになってしまい、十分に理由が書けていない回答もありました。

「読むこと」に関しては、正確に速く読むことが求められます。日ごろからたくさんの英文に触れることが大切です。また、英文の種類も、物語分、説明文、メールやチャットなど、さまざまあります。それぞれの形式に慣れるようにしてください。読み取った内容を自分の言葉で説明出来るように、語彙や文法の勉強もしっかりしておきましょう。

「書くこと」に関しては、まず正確な文が書けるようにしましょう。その次に文と文のつながりに注意して、ある程度の量の英文が書けるように練習してください。説得力のある内容となっているか、他の人に添削してもらいましょう。

一般入試 入試結果

(2024年度)

募集人数	男女合わせて約60名	
	男子	女子
応募者	103	70
受験者	100	66
合格者	40	54
補欠発表	11	7
繰上合格者	0	0
倍率	2.5	1.2
受験者平均点		
国語	55.3	62.3
数学	67.5	71.5
英語	62.6	69.1
合格者平均点		
国語	61.3	65.1
数学	82.6	74.5
英語	69.1	72.3
合格最高点	259	265
合格最低点	196	181

(2023年度)

募集人数	男女合わせて約60名	
	男子	女子
応募者	115	98
受験者	113	96
合格者	40	32
補欠発表	11	12
繰上合格者	0	0
倍率	2.8	3.0
受験者平均点		
国語	62.5	68.8
数学	59.3	59.3
英語	59.3	67.8
合格者平均点		
国語	70.4	75.9
数学	70.9	74.2
英語	67.5	79.5
合格最高点	236	268
合格最低点	196	211

(2022年度)

募集人数	男女合わせて約60名	
	男子	女子
応募者	99	74
受験者	95	71
合格者	58	45
補欠発表	10	10
繰上合格者	0	0
倍率	1.6	1.6
受験者平均点		
国語	55.6	61.9
数学	63.6	63.8
英語	77.6	81.8
合格者平均点		
国語	58.5	66.5
数学	70.3	73.9
英語	82.4	87.2
合格最高点	270	261
合格最低点	183	201

(2) 推薦入試 2025年度募集概要

形態	単願推薦
募集人数	第1学年 男女合わせて約25名
応募資格	(1) 成蹊高等学校への入学を第一志望とし、入学後の勉学に明確な目的と熱意を持ち、入学後他の生徒の模範となりうる者で、合格した場合は本校への入学を確約できる者。 (2) 2008年4月2日から2010年4月1日までの出生で、2025年3月31日に中学校を卒業見込みの者。 (3) 在籍校の校長からの推薦があること。 (4) 出席状況が良好であること。 (5) 成績条件あり。 詳細は募集要項(注)にてご確認ください。
入学料	30,000円
出願方法	WEB出願サイトから出願のうえ、必要書類を提出してください。 * URLは募集要項(注)にてご確認ください。
WEB出願情報入力	2024年12月20日(金)～
WEB出願期間 書類提出期間	2025年1月15日(水) 9:00～1月17日(金) 13:00 ↓ [郵送] 2025年1月18日(土) 必着
提出書類	(1) 調査書 (2) 推薦書(本校所定様式を使用し、在籍中学校にて厳封) (3) 志願者シート(本校所定様式) 提出方法等については、募集要項(注)にてご確認ください。
試験日時 場所	2025年1月22日(水) 集合は8:10、適性検査開始は8:30、面接は12:25から行う予定です。 中学・高等学校 校舎
選考方法	○ 書類審査 ○ 適性検査 国語、数学、英語(リスニング含む)(各45分・100点) ○ 受験生面接 以上を総合して合格者を選考します。
合格発表	校内掲示板: 2025年1月23日(木) 10:00 本校HP: 2025年1月23日(木) 10:00～10:30 可否確認サイト: 2025年1月23日(木) 10:00 * 個別のお問い合わせには応じることができません。
合格証交付 ・入学手続	詳細は募集要項(注)にてご確認ください。

(注) 募集要項は2024年9月28日(土)より成蹊中学・高等学校のホームページにて公開します。

(3) 帰国生入試 2025年度募集概要

募 集 人 数	第1学年 男女合わせて 若干名
応 募 資 格	次の要件を全て満たした者。 (1) 2008年4月2日から2010年4月1日までに出生した者。 (海外で生まれた方または外国籍の方はお問い合わせください) (2) 本人が帰国直前に連続して1年以上海外の学校に在籍していたこと。 (3) 2022年12月1日以降の帰国であること。 (4) 日本の中学校を卒業または卒業見込みの者、あるいは、海外の学校においてこれと同等と認められる者。 * 応募資格についてご不明な点は、お問い合わせください。
入 学 考 査 料	30,000円
出 願 方 法	WEB出願サイトから出願のうえ、必要書類を提出してください。 * URLは募集要項(注1)にてご確認ください。
WEB出願情報入力	2024年12月20日(金)～
WEB出 願 期 間 書 類 提 出 期 間	2024年12月20日(金) 9:00～2025年1月10日(金) 13:00 ↓ [郵送] 2025年1月14日(火) 必着
提 出 書 類	(1) 志願者学歴書 (2) 成績証明書類 下記の分類で在籍した学校ごとに、証明書類を提出してください。出願時に間に合わない場合や①、②、③に該当しない場合は事前にご相談ください。 ①現在、海外で現地校等に在籍 日本の学制における中学課程にあたる期間の成績証明書または成績表(※)のコピー。 ②現在、海外で日本人学校に在籍 (1) 日本人学校用調査書(本校所定様式) (2) (1)を発行した学校の在籍期間を除く日本の学制における中学課程にあたる期間の成績証明書または成績表(※)のコピー ③海外で現地校等または日本人学校に在籍、帰国後国内中学校に在籍 (1) 帰国後の国内中学校からの調査書 (2) 帰国直前1年間の在籍学校名と在籍期間が証明できる成績証明書または成績表(※)のコピー (3) (1)(2)を発行した学校の在籍期間を除く日本の学制における中学課程にあたる期間の成績証明書または成績表(※)のコピー (※) 在籍学校名とその在籍期間が読み取れない場合は、別にこれを証明する文書(書式不問)を提出してください。 提出方法等については、募集要項(注)にてご確認ください。
試 験 日 時 場 所	2025年1月22日(水) 集合は8:10、試験開始は8:30、面接は13:10から行う予定です。 中学・高等学校 校舎
選 考 方 法	○ 筆記試験 国語(古典は除く)、数学、英語(リスニングを含む)(各60分・100点) ○ 受験生面接 ○ 調査書または成績証明書類等の審査 以上を総合して合格者を選考します。
合 格 発 表 (補 欠 者 発 表)	校内掲示板: 2025年1月23日(木) 10:00 本校HP: 2025年1月23日(木) 10:00～10:30 合否確認サイト: 2025年1月23日(木) 10:00 * 個別のお問い合わせには応じることができません。
合 格 証 交 付 ・ 入 学 手 続	詳細は募集要項(注)にてご確認ください。

他校併願の場合の延納について(一般入試・帰国生入試のみ)

他校併願者は、入学手続時納付金のうち、入学金を除くその他の費用について、都立高校第一次募集・分割前期募集合格発表日(前年度は2024年3月1日)15時まで延納することができます。
 手続きの詳細は、募集要項(注)にてご確認ください。

(注) 募集要項は2024年9月28日(土)より成蹊中学・高等学校のホームページにて公開します。

帰国生入試 入試科目の傾向と対策

国 語

出題の方針

1. 論説文を正確に読み、理解していることを的確に表現する力があるかどうかを測ります。
2. 小説・古文は出題しません。

問題の傾向

1. 文章の内容は一般入試と同程度です。問題の傾向も同様で、まとまった長さの記述問題を出題します。
2. 2020年までは作文を独立した大問として出題していましたが、2021年度より、作文の力は論説文の問題の中で測るよう変更しました。字数にして、300字程度の作文が必要です。

受験の準備

1. 一般入試と同様の準備をしてください。さまざまなテーマについて自分の考えをある程度まとまった量で記述する練習をしておいてください。
2. 日本語の文章をある程度読んで慣れておくことが大切です。いろいろな文章を読み、その要旨をとらえられるようにしておいてください。

数 学

出題の方針・問題の傾向・受験の準備は一般入試と同様です。過去に行われた一般入試の問題も参考にしてください。以下は一般入試と同じ内容です。

出題の方針

1. 正確な計算力をベースにした中学校の学習内容が身につけているかどうかを確認します。
2. どの分野からも偏りなく出題することを心がけています。

問題の傾向

1. 計算、図形などの基本問題は必ず出題します。
2. 関数、図形、文章題など、どの参考書や問題集にも載っているような典型的な問題も出題します。
3. 思考力を見るための応用問題も出題することがあります。

受験の準備

1. 基本問題は、何度も練習して、短時間で正確にできるようにしておいてください。
2. 典型的な問題も、繰り返し解くことにより、しっかりと身につけておいてください。
3. 応用問題は、時間をかけて自力で考え抜くことが大切です。解けなかったからといって慌てることはありませんが、応用力のある受験生は、ここで差をつけることができます。

英 語

出題の方針

1. 「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の3技能をテストします。
2. 国公立中学校における学習事項を逸脱しない範囲で出題します。ただし、一般入試よりも少し語彙の難易度が上がります。また、「書くこと」に関しては一般入試よりも多くの英文を書きます。

問題の傾向

1. 「聞くこと」の問題では、ある程度まとまった文章を聞き、その内容が正しく把握できているかを見ます。
2. 「読むこと」の問題では、まとまった分量の英文を読み、内容を把握する問題が出ます。また、語彙、文法なども含まれます。
3. 「書くこと」の問題には、あるテーマに基づいてかなりの分量のまとまった文章を書く問題などが毎年出されます。

受験の準備

1. 日ごろから英語を聞く習慣を身につけておくといよいでしょう。
2. 一定時間内にまとまった量の文を英語で読む習慣を身につけておきましょう。
3. いろいろなテーマに基づいてまとまった量の英語で書けるように練習しておきましょう。

(4) 高等学校2年編入試 2025年度募集概要

募 集 人 数	第2学年 男女合わせて 若干名
応 募 資 格	<p>下記(1)(2)両方の要件を満たした者。</p> <p>(1) 次のいずれかに該当する者。</p> <p>①保護者転勤・転居による一家転住者であること。</p> <p>②本人が帰国直前に連続して1年以上海外の学校に在籍し、2024年4月1日以降の帰国であること。</p> <p>(2) 2007年4月2日から2009年4月1日までに出生した者で、次のいずれかに該当する者。</p> <p>①2024年3月31日までに第1学年を修了した者(所定の単位を得た者)。</p> <p>②2025年3月31日までに第1学年を修了見込みの者(所定の単位を得る見込みの者)。</p> <p>③海外の学校において上記と同等と認められる者。</p> <p>* 出願をされる際には、応募資格の確認のため、あらかじめEメールにてご連絡をお願いします。 (chuko@jim.seikei.ac.jp)</p>
入 学 考 査 料	30,000円
出 願 方 法	<p>WEB出願サイトから出願のうえ、必要書類を提出してください。</p> <p>* URLは募集要項(注)にてご確認ください。</p>
WEB出願情報入力	2024年12月20日(金)～
WEB出 願 期 間 書 類 提 出 期 間	<p>2025年2月24日(月・祝) 9:00～3月5日(水) 13:00</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>[郵送] 2025年3月6日(木) 必着</p>
提 出 書 類	<p>(1) 志願者学歴書</p> <p>(2) 在学証明書 国内からの受験者は在学中の高等学校が発行した証明書が必要です。</p> <p>(3) 転校照会書 国内からの受験者は在学中の高等学校が発行した照会書が必要です。</p> <p>(4) 成績証明書類 国内からの受験者は在学中の高等学校が発行した証明書、帰国生は海外での成績表のコピー(在学学校名が分かるもの)を提出してください。応募資格(1)の②に該当する方で、成績表のコピーに1年以上の在籍期間が明示されていない場合は、別にそれを証明する文書(書式不問)を在学学校で作成してもらってください。 提出方法等については、募集要項(注)にてご確認ください。</p>
試 験 日 時 所	<p>2025年3月14日(金)</p> <p>集合は8:30、試験開始は8:40、面接は12:10～12:40の間に行う予定です。</p> <p>中学・高等学校 校舎 (受験を取り止める場合には前日までに電話連絡をお願いします)</p>
選 考 方 法	<p>○ 筆記試験 国語総合、数学Iと数学A、英語(リスニングはありません) (各60分・100点)</p> <p>○ 受験生面接</p> <p>○ 成績書類審査</p> <p>以上を総合して合格者を選考します。</p>
合 格 発 表 (補 欠 者 発 表)	<p>校内掲示板: 2025年3月14日(金) 16:00</p> <p>合否確認サイト: 2025年3月14日(金) 16:00</p> <p>* 個別のお問い合わせには応じることができません。</p>
合 格 証 交 付 ・ 入 学 手 続	<p>詳細は募集要項(注)にてご確認ください。</p>

(注) 募集要項は2024年9月28日(土)より成蹊中学・高等学校のホームページにて公開します。

高等学校2年編入試 入試科目の傾向と対策

〈国語〉『国語総合』の現代文と古典

ボリュームのある問題なので、まとまった分量の日本語(文学作品と論説文)を、速い速度で読み取ることに慣れておいてください。

〈数学〉『数学I』『数学A』

さまざまなレベルの問題が出ますが、中レベルの問題は確実に正答できるようにしてください。

〈英語〉『英語コミュニケーションI』『論理・表現I』 (リスニング試験はありません)

桐原書店『Heartening English Communication I』のレベルを目標にしてください。

推薦入試 入試結果

(2024年度)

試験日	1月22日	
募集人数	男女合わせて約20名	
	男子	女子
応募者	11	11
受験者	11	11
合格者	11	11
補欠発表	0	0
繰上合格者	0	0
倍率	1.0	1.0

(2023年度)

試験日	1月22日	
募集人数	男女合わせて約20名	
	男子	女子
応募者	14	21
受験者	14	21
合格者	12	12
補欠発表	0	0
繰上合格者	0	0
倍率	1.2	1.8

(2022年度)

試験日	1月22日	
募集人数	男女合わせて約20名	
	男子	女子
応募者	6	16
受験者	6	16
合格者	6	16
補欠発表	0	0
繰上合格者	0	0
倍率	1.0	1.0

帰国生入試 入試結果

(2024年度)

試験日	1月22日	
募集人数	男女合わせて若干名	
	男子	女子
応募者	28	31
受験者	27	30
合格者	13	20
補欠発表	4	1
繰上合格者	0	0
倍率	2.1	1.5

(2023年度)

試験日	1月22日	
募集人数	男女合わせて若干名	
	男子	女子
応募者	28	35
受験者	27	34
合格者	15	16
補欠発表	5	5
繰上合格者	0	0
倍率	1.8	2.1

(2022年度)

試験日	1月22日	
募集人数	男女合わせて若干名	
	男子	女子
応募者	17	18
受験者	15	16
合格者	15	15
補欠発表	0	0
繰上合格者	0	0
倍率	1.0	1.1

高等学校2年編入試 入試結果

(2024年度)

2024年度は応募がありませんでした。

(2023年度)

試験日	3月14日	
募集人数	男女合わせて若干名	
	男子	女子
応募者	2	0
受験者	1	0
合格者	1	0
補欠発表	0	0
繰上合格者	-	-
倍率	1.0	-

(2022年度)

試験日	3月14日	
募集人数	男女合わせて若干名	
	男子	女子
応募者	1	3
受験者	1	3
合格者	0	3
補欠発表	0	0
繰上合格者	-	0
倍率	-	1.0

その他

(1) 年間にかかる費用

【中学】

入学金・授業料およびその他の費用

○ 一般学級 (2024年度の例) ※は入学年度のみ

項目	納入期日と金額		年 額
	入学時	9月下旬まで	
※入 学 金	300,000円		300,000円
授 業 料	334,000円	334,000円	668,000円
施 設 費	100,000円	100,000円	200,000円
※こみち会入金	1,200円		1,200円
こみち会費	2,500円		2,500円
P T A会費	3,600円	3,600円	7,200円
合 計	741,300円	437,600円	1,178,900円

○ 国際学級 (2024年度の例) ※は入学年度のみ

項目	納入期日と金額		年 額
	入学時	9月下旬まで	
※入 学 金	300,000円		300,000円
授 業 料	334,000円	334,000円	668,000円
特別教育費	164,000円	164,000円	328,000円
施 設 費	100,000円	100,000円	200,000円
※こみち会入金	1,200円		1,200円
こみち会費	2,500円		2,500円
P T A会費	3,600円	3,600円	7,200円
合 計	905,300円	601,600円	1,506,900円

*上記の納付金は2024年度入学生のもので、諸般の状況により、在学中に納付金を改定することがありますので、あらかじめご了承ください。

*保護者の皆様には「成蹊学園教育充実資金」(1口10万円として3口以上)のご協力をお願いしております。この寄付金は任意のものですが、教育内容の充実改善や教育施設設備の整備拡充等をより一層推進するための資金として有効に活用させていただいているものです。あらためてご案内を申し上げますので、なにとぞご理解を賜り、ご協力の程お願い申し上げます。

上記以外にかかる費用

制服類 (夏服を含む) の費用: 男子 95,000円程度
女子 120,000円程度

上 履 き: 4,000円程度

体 育 館 履 き: 5,000円程度

体 育 着 一 式: 20,000円程度

I C T 端 末: 160,000円程度

(学校指定、管理・補償などを含む)

宿 泊 行 事 の 費 用: 1年夏の学校=50,000円程度

2年夏の学校=50,000円程度

3年修学旅行=100,000円程度

そ の 他 の 費 用: 学級費、学年費として年額5,000円から10,000円程度

部活動にかかる費用: 合宿費、ユニフォーム代等

【高校】

入学金・授業料およびその他の費用

(2024年度の例) ※は入学年度のみ

項目	納入期日と金額		年 額
	入学時	9月下旬まで	
※入 学 金	300,000円		300,000円
授 業 料	334,000円	334,000円	668,000円
施 設 費	100,000円	100,000円	200,000円
※生徒会入金	1,200円		1,200円
生 徒 会 費	6,800円		6,800円
P T A会費	3,600円	3,600円	7,200円
計	745,600円	437,600円	1,183,200円

*上記授業料は高等学校等就学支援金支給額減額前の金額です。

*上記の納付金は2024年度入学生のもので、諸般の状況により、在学中に納付金を改定することがありますので、あらかじめご了承ください。

◎都内在住の入学者には、東京都の入学支度金貸付制度があります(一般入試、帰国生入試、推薦入試のみ)。

◎保護者の皆様には「成蹊学園教育充実資金」(1口10万円として2口以上)のご協力をお願いしております。この寄付金は任意のものですが、教育内容の充実改善や教育施設設備の整備拡充等をより一層推進するための資金として有効に活用させていただいているものです。あらためてご案内を申し上げますので、なにとぞご理解を賜り、ご協力の程お願い申し上げます。

◎一般社団法人成蹊会(同窓会)の入会金として、在学中に36,000円の納入をお願いしております。

高校入試で他校を併願する方へ(一般入試・帰国生入試のみ)

他校併願者は、入学時納付金のうち、入学金を除くその他の費用について、都立高校第一次募集・分割前期募集合格発表日の15時まで延納することができます。

延納希望者は、入学時納付の際、入学金のみを納入し、その他の費用についての「延納願」を提出していただきます。「延納願」は合格者にお渡しする入学時書類に同封します。

上記以外にかかる費用

制服類 (夏服を含む) の費用: 男子 95,000円程度
女子 110,000円程度

上 履 き: 4,000円程度

体 育 館 履 き: 5,000円程度

体 育 着 一 式: 20,000円程度

I C T 端 末: 個人の所有物を利用

行 事 等 の 費 用: 2年学習旅行 国内12万円程度
海外14万円程度

そ の 他 の 費 用: 学級費として年額5,000円から10,000円程度

部活動にかかる費用: 合宿費、ユニフォーム代等

(2) 奨学金制度

中学生、高校生が共に利用できる次の制度があります。(他にも制度がありますので、事務室までお問い合わせください)

成蹊中学・高等学校 中村春二記念育英奨学金：

経済的困窮の事態が入学後に発生し、長期的に学費の支弁が困難と認められる者に対する奨学金制度で、納付金(授業料及び施設費)に担当する額を給付します。各年度の第1期、第2期において原則として中学校及び高等学校それぞれ1名ずつ募集します。

成蹊中学・高等学校奨学金：

経済的理由により修学の継続が困難な者に対する奨学金制度で、半期分の納付金を貸与します。卒業までの間にそれぞれ2回ずつ利用できます。

成蹊会育英奨学金(中学生向け)：

成蹊学園の同窓会組織である一般社団法人成蹊会の奨学金制度で、月額40,000円を貸与します。

成蹊会育英奨学金(高校生向け)：

成蹊学園の同窓会組織である一般社団法人成蹊会の奨学金制度で、月額40,000円を貸与します。

(3) データ

中学校生徒数(2024年4月1日現在)

学年	クラス数	男	女	総計
1	8	130	135	265
2	7	138	138	276
3	7	143	125	268

* 2024年度 中1のうち成蹊小学校出身者は113名(男51名・女62名)

高校生徒数(2024年4月1日現在)

学年	クラス数	男	女	総計
1	8	169	165	334
2	8	162	160	332
3	8	173	156	329

* 2024年度 高1のうち成蹊中学校出身者は244名(男127名・女117名)

中学・高校教職員数(2024年4月1日現在)

教科	専任	非常勤
国語	15	5
社会	13	5
数学	16	6
理科	10	6
外国語	21(3)	16(4)
保健体育	11	5
芸術	5	7
家庭	2	1
情報	2*	1
養護	2	0
合計	95(3)	52(4)

()内はネイティブ・スピーカー数 * 数学科を兼任

Q & A

(1) 国際学級と帰国生の受け入れ

【中学校】

Q1 国際学級に入学すると、1年間は国際学級クラスで、中学2年からは一般クラスに移ると聞きましたが、どのようなクラス編成になるのでしょうか。

一般クラス36名7学級の各クラスに、国際学級の生徒が2名から3名ずつ加わるクラス編成となります。つまり、中学2年からは1クラス38名程度の人数で授業を受けることになります。

Q2 中学2年生帰国生編入試で合格し入学した場合は、中学2年からの帰国生を対象とした「帰国生英語特設クラス」に参加することはできるのでしょうか。

中学2年生帰国生編入試の合格者で、「帰国生英語特設クラス」への参加を希望する生徒については、参加判定のテストを受け、授業についていけるだけの英語力があると判断された場合は、「帰国生英語特設クラス」で授業を受けることができます。

Q3 高校での英語の授業はどのようになりますか。

英語の授業は全体を高校1年では2段階、2・3年では3段階の習熟度別分割授業として行っています。2017年度より高校2年に帰国生用の演習を設置しました。

Q4 国際学級の時間割や教育課程はどのようになっていますか？

国際学級教育課程表・1年

必修教科	国語	210
	社会	140
	数学	175
	理科	140
	音楽	35
	美術	35
	保健体育	105
選択科目	技術・家庭	70
	外国語(英語)	175
道徳		35
特別教育活動		35
総合的な学習の時間		70
総計		1,190

国際学級時間割例・1年

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1時限	国語Ⅰ	国語Ⅱ	歴史	英語Ⅰ	生物	地学
2時限	数学α	英語Ⅱ	英語Ⅰ	国語Ⅰ	国語Ⅱ	国語Ⅰ
3時限	美術	数学β	数学α	地学	保健体育	歴史
4時限	地理	生物	国語Ⅱ	地理	英語Ⅱ	数学β
5時限	技術・家庭	書道	保健体育	道徳	音楽	
6時限	技術・家庭	国語Ⅰ	保健体育	HR	数学α	

(2) 学習全般

【中学校】

Q1 中学に入ったら塾へ通わないと授業についていけないという学校がありますが、成蹊では、通う必要がありますか。

「中学へ入ったら塾へ行かなければ」という考え方は、本校にとってはとても残念なことです。塾へ通うことは、授業内容を自分で理解し身につけるための大切な時間を失うことになり、受け身の姿勢を助長するので、あまり良くないことと考えています。

本校では基礎から丁寧に指導にあたるので、塾や予備校に通う必要はありません。また実験や実習も多く行われているため、塾でも対応が難しい内容も含まれます。将来的にも「塾へ通わないと学習しない」「誰かに強制されないと勉強しない」という考え方から脱却できなければ、自ら学ぶ姿勢は身につけません。教員との人間関係を大切にしながら、学校中心の学習に徹してほしいです。

Q2 選抜クラスや能力別クラス制は実施していますか。

英語は中学1年では小学校での英語の学習経験の違いによってクラスを分けて授業を行っています。また、中学2・3年の英語において「帰国生英語特設クラス」を実施しています。これは、中学1年で国際学級に所属していた生徒を中心に、海外生活経験者と同程度の英語能力のある生徒を集めて、一般クラスとは別の授業を行うものです。国際学級出身者は、原則として、「帰国生英語特設クラス」に参加しますが、一般学級在籍の生徒および中学2年に編入学する帰国生については、参加判定のためのテストがあります。

高校生になると、全学年の英語と数学の授業において、習熟度によりクラスを分けて、少人数で授業を行っています。

Q3 クラブ活動と勉強の両立は可能ですか。

ほとんどの生徒がクラブ活動に参加して積極的に活動し、その多くが勉強との両立を果たしています。学校としても、課外活動から得るものは少なくないと考え、生徒の自主性を重んじながら指導しています。なお、活動は、原則週4日以内としています。

Q4 入学したらパソコンやタブレットなどの端末を買う必要がありますか。

全員に指定の端末 (Microsoft社製 Surface Go) を購入していただきます。学校から購入の案内をいたしますので、説明を受けてから購入してください。なお、中学3年間は MDM 管理 (モバイルデバイス管理)・フィルタリング管理などをするため、指定外の端末をご使用いただくことはできません。

Q5 授業についていけなくなった場合はどうしたらいいですか。

授業についていけないときは、宿題や家庭学習にも取り組めていない場合が多いと思われます。まず、スケジュール管理帳『日進月歩』を使用して、担任の先生と自分の家庭学習を振り返りましょう。

また、各学期の期末テスト10日前から放課後の補習を、教員から見て必要と思われる生徒を対象に行っています。この補習に限らず、生徒が自ら質問に行く姿はよく見られます。本校では、教員と生徒の距離が近いのが特色です。授業についていけないと思ったらまず、担当教員に個別に相談に行くケースが多いです。生徒からの質問・相談に応じ、授業の中でさらにかみ砕いた説明に変えるなど教員も調整しています。職員室に面談ブースがあり、昼休みや放課後に相談、質問等やりとりしている風景が日常的に見られます。

【高校】

Q1 授業はどのようなクラス編成で行われますか。

全学年の英語と3年生の理系数学Ⅲの授業は、習熟度によりクラスを分けて、少人数で授業を行っています。これとは別に、必修選択の授業は、原則として15～30名前後のクラス編成で実施されます。また高校2年から、自由選択の演習科目 (数学、芸術科目、家庭科、英会話、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮・韓国語) を設置しますが、いずれも10～30名の少人数のクラス編成で実施されます。

このように生徒の興味や進路に応じて、細かい指導を受けられることが特徴です。

Q2 クラブ活動と勉強の両立は可能ですか。

ほとんどの生徒がクラブ活動に参加して積極的に活動し、その多くが勉強との両立を果たしています。学校としても、課外活動から得るものは少なくないと考え、生徒の自主性を重んじながら指導しています。なお、活動は原則週5日以内としています。

Q3 入学したらパソコンやタブレットなどの端末を買う必要がありますか。

各自でご用意いただく必要があります。機種は問いませんが、授業等で使用する際に必要となるスペックや最新のOSなど、学園が推奨する機器を目安に、入学者全員にご準備いただきます。

Q4 授業の進度についていけなくなった場合、補習をしてもらえますか。

補習授業は、原則として実施していません。それは成績不振の生徒の多くが「授業」という形態についてこれない傾向があり、補習という形で同じ授業を繰り返しても効果は少なく、型通りの補習では生徒の受け身の姿勢を助長するだけで、成果が上がらないことが多いからです。むしろその生徒がどこで行き詰まっているのかを知るには、個別の対話しかなく、個別指導の方が効果的だと考えています。

本校では、教員と生徒の距離が非常に近いのが特色です。生徒たちから個別の質問を受けたり、授業の進度についていけなくなった生徒たちには教員から個別の指導を行ったりすることによって対応しています。

定期試験前はもちろん、普段の日の始業前、昼休み、放課後にも学習・質問に職員室を訪れる生徒の姿は多く見られます。日々の授業の質問から外部大学受験のための演習などさまざまな対応を行っております。

Q5 高校からの入学生は別クラスになりますか。

高校入試で成蹊に入学してくる生徒の存在は、成蹊中学から進学する生徒にも良い刺激を与えています。両者は高1から同じホームルームクラスに所属しますが、高1の数学のみ別クラスで授業を受け、時間数も週1時間多くなっています。

(3) 学校生活全般

Q1 朝は何時から学校が始まりますか。また、朝礼はありますか。

朝は8:10までに登校することになっています。毎朝必ず朝礼があります。朝礼では、「**疑念**」と呼ばれる成蹊独特の精神集中法が実施されています。

Q2 他校からの入学者と成蹊からの進学者はうまくとけ込んでいますか。

例年、成蹊小学校からの進学者は120名程度、中学校からの入学者は国際学級を含めて140名程度で、クラスは偏りがなく均等に編成されます。

また、成蹊高等学校へは成蹊中学校からは、ほとんど全ての生徒が進学し、高校からの入学者は帰国生を含めて80名程度です。

成蹊出身者は新しい友人との出会いを楽しみにしています。個人差はありますが、4月のオリエンテーション期間やチームビルディング体験、5月の体育大会や遠足などを通じて、打ちとけていきます。切磋琢磨しつつ和気あいあいと楽しく学校生活を送っています。

Q3 文房具や昼食などを買うために、校外に出ることができますか。

登校後は授業終了時刻まで校外に出ることはできません。文房具は校内の売店で購入できます。また、中学生はお弁当持参が原則ですが、売店で日替わり弁当やパンなどを購入することができます。高校生は、食堂を利用することができます。食堂は座席が約300席あり、多くの生徒が利用しています。お弁当を持参して、教室で友達と食べる生徒もいます。

Q4 クラブ活動は中高合同で行われていますか。

クラブによって異なりますが、原則は中学と高校で、別々に活動しています。合同で活動することの効果が大きいクラブや、必要性のあるクラブについては、合同で活動をすることがあります。例えば、吹奏楽部やストリングス部では、各パートごとに合同で活動しています。それにより、高校生の高い技術を中学生に受け継ぐことができます。

多くの運動部では、中学と高校で人数や体力、技術のレベルに差があるので、普段は別々に活動しています。ただ合宿の時などに、高校生や卒業生に指導に来てもらうなど交流が持たれています。

Q5 文化祭や体育祭はいつ、どのような形で行われますか。

文化祭(蹊祭)は、例年9月末～10月初めに行われ、どなたでも自由にご覧いただけます。蹊祭に先駆けて中学では5月下旬または6月上旬に体育祭が行われますが、一般には公開されていません。また蹊祭の他に、文化部の活動を発表するイベントとして1月と6月に発表会が行われ、保護者や卒業生の参観が可能です。

Q6 人間関係で悩んだときに何かサポートはありますか。

中学・高校時代は、身体も心も大きく成長する非常に大切な時期です。本校では、自己のみならず他人への思いやりや気配りができるような人間の育成をめざしており、生徒には、他人を思いやる優しさ、共感することのできる温かい心を持って行動するように指導しています。

また、中央館の1階には、生徒たちが悩みなどを個別に相談できるカウンセリングルームを設けています。カウンセリングルームでは2人のカウンセラーが、学習面、生活面、人間関係など、あらゆる側面にわたって対応し、生徒一人ひとりが楽しく学校生活を送れるようサポートしています。

思春期の多感な時期にある生徒の成長には、学校のみならず家庭の協力が大切だと考えています。成蹊ではさまざまな面において家庭と連絡を取り、学校と保護者が一体となって生徒の成長を助けるように努めています。

Q7 自転車通学はできますか。

徒歩と公共交通機関の利用が原則です。高校は学校との直線距離が2km以上10km以下の場合、中学校は居住地域により、自転車通学願を出すことができます。成蹊中学・高校ホームページ内の「よくあるご質問」をクリックしていただき、「中学校」を選択し、Q & A(学校生活全般について)の中でも説明していますので、そちらもご参照ください。

なお、学校近くの駅や近隣に自転車を置いて利用することは認められていません。

(4) 施設全般

■ 保健室&カウンセリングルーム

Q1 カウンセリングルームでは、どのような相談ができるのですか。

学校生活では、日々さまざまな出来事があり、迷いや悩みが生じます。カウンセリングでは、そのような迷いや悩みを気軽に相談することができます（保護者の方も利用することができます）。

Q2 カウンセリングを受けたことを、誰にも知られたくないのですが。

カウンセラーには、業務上知り得た個人の秘密を守る義務（守秘義務）があります。カウンセリングルームに相談に来た事実や相談内容を他者に話すことはありません。ご安心ください。

■ 図書室

Q1 中学生エリアにはどのような特色がありますか？

中学生に最も人気があるのは「コミックコーナー」です。手塚治虫全集全400巻などの名作としての評価が定着したコミックを約1,300冊配架しています。また、雑誌コーナーには中学生の間で人気のある科学雑誌、芸能雑誌の他、NHKテレビ外国語講座テキストが全種類そろっています。

Q2 高校生エリアにはどのような特色がありますか？

中学生に比べて一人で利用する生徒がかなり多いので、個人用の机を多めに配置しています。新聞は、一般紙の他、経済紙や英字紙も配置しています。新書と文庫はニーズが大きいため、なるべく要望に応えるようにそろえています。また、多くの高校生が参加している国際交流プログラム関係の資料をまとめたコーナーがあります。高校には常に留学生が各国から来ているため、日本について英語で学ぶための書籍や日本語学習テキストが並んでいるのも成蹊の特色でしょう。

Q3 大学進学に役立つ資料はありますか？

いわゆる「赤本」「青本」の最新版は図書室でそろえ、貸し出しにも応じています（バックナンバーは進路指導室に配架）。将来の職業選択、大学選びに関する書籍や年鑑類と、受験勉強の工夫を紹介する本をまとめているコーナーがあり、よく利用されています。総合型選抜入試、公募推薦入試で重視される小論文やプレゼンテーション対策に役立つ資料も充実しています。

Q4 留学や外国大学進学のための資料はありますか？

留学の入門書の他、資格試験であるTOEFL、TOEIC、SATの基本情報や問題集には図書室でアクセスできます。なお、海外旅行ガイドブックの「地球の歩き方」も全てそろっています。

Q5 英語の本はありますか？

中学・高校ともにおよそ2割の生徒が帰国生なので、帰国生向け授業で使用するテキストをまとめたコーナーを設けています。また、帰国したばかりの生徒からのリクエストに応じ、コンテンポラリーな英語の本を多くそろえています。英語以外にも、なるべく多様な言語の辞書、入門書をそろえるようにしています。

Q6 珍しい蔵書は何ですか？

「東洋文庫」が全巻そろっており、これは大学でも珍しいでしょう。イスラム教の「クルアーン（コーラン）」はアラビア語日本語対訳のものを所蔵しています。また、世界最高の百科事典とされる“Encyclopaedia Britannica”があり、留学生や帰国生が利用しています。

Q7 デジタル化には対応していますか？

蔵書検索と新聞記事検索はネット環境のある場所ならどこからでも出来るようになってきました。上記の“Encyclopaedia Britannica”をオンラインで利用することもできます。

Q8 大学図書館を利用することは出来ますか？

高校生は所定の手続きを経て利用可能です。

(5) 防災関係

Q1 東日本大震災発生時の対応について教えてください。

当日は中高ともに学年末テストの答案返却日にあたり、高校の返却は午前中で終了しましたが、部活動などで生徒の3分の1が在籍していました。また中学は全員が在籍中でした。バスや電車で通学している生徒は、ご家庭に連絡して保護者に迎えに来ていただきましたが、最終的には中高合わせて約400名の生徒が校内で宿泊しました。電気・ガス・水道を含め、校舎にはほとんどダメージはありませんでした。校舎が新築であったこと、十分な備蓄があったこと、以前から地震を想定した防災訓練を年2回は行っていたことなどから、生徒も教員も的確かつ迅速に行動することができました。

Q2 緊急時の家庭との連絡手段について教えてください。

緊急時にご家庭と連絡をとる場合は、家庭調書に記入していただく緊急連絡先のほか、「メール連絡網」を一斉配信として利用しています。また、ホームページの緊急連絡はパソコン、携帯電話、スマートフォン、タブレットから閲覧が可能となっています。

Q3 地震が心配なので、携帯電話を持たせたいのですが。

成蹊中学校では、携帯電話の所持は原則として禁止しています。やむを得ず所持を希望する場合も許可制になっており、校内での使用はできません。昨今の携帯電話やスマートフォンは電話以外の機能も充実しているため、トラブルの原因となることも多いのが現状で、「携帯電話はお守りではない」というのが、本校の考え方です。

このような経緯から、災害時の連絡を理由とした携帯電話の所持は認めておりません。登下校中の地震に際しては、まず身の安全を確保し、周りの大人に助けを求め、困ったときには学校へ戻ってくるよう指導しています。

なお高校では、携帯電話の所持を禁止していません。

Q4 その他、地震などを想定した学校としての工夫は何かありますか。

年2回の防災訓練は、ホームルーム単位の授業中、コース別の授業中など、さまざまなケースを想定して行っています。

地震などを想定して毎年記入いただいている防災用の「防災用個人カード(下校確認証)」には、住所・氏名・血液型のほかに、各ご家庭での待ち合わせ場所や関東圏外の連絡先などについても記入いただいております。在宅時に地震が起こった場合を想定した安否報告メールのアドレスも伝えています。

各教室には、避難場所までの経路が掲示されており、また、教員が授業に持参する出席簿に災害時の行動マニュアルと点呼時人員確認票がセットされており、万一の発災時にも混乱することなく対応できるよう工夫しています。

Q5 新型コロナウイルス感染症対策はどのようにしていましたか？

文部科学省の要請や感染拡大状況に応じて、休校、分散登校、時差登校を行いました。リモート授業には主にMicrosoftのTeamsを利用して動画配信や課題回収、ホームルーム活動等を行い、年間の学習内容に遅れが出ないように学習を進めてきました。クラブ活動も制限をかけつつ顧問の管理のもと安全に気を付けて活動していました。毎日の検温と健康観察、登校時の手指消毒、授業で実習・実験を行う際の対策等を行い、感染症対策と学校生活の両立をはかりました。

(6) 大学進学全般

Q1 成蹊大学への推薦制度について教えてください。

高校3年間の学習および出欠状況の基準を満たせば、資格が得られます。例年80%超の生徒が資格を得ており、この制度を使って進学する生徒は30%前後です。

Q2 成蹊大学への推薦の資格を持ちながら、他大学を受験することはできますか。

「内部推薦併願制度」があり、学習成績などで一定以上の条件を満たした生徒が利用できます。

Q3 成蹊を卒業して社会に出た場合、卒業生同士にはどのようなつながりがありますか。

同窓会団体である「成蹊会」を通して、海外も含む多くの地方組織や医師団体の「蹊医会」など職業別の組織があり、多方面にわたって強い人脈をつくることができます。

Q4 成蹊大学以外の大学への進学について、どのようなサポートがありますか。

現在、大学入試には様々な種類があります。進路指導部では、一人ひとりの志望にあわせて、情報を提供したり、卒業生との面談をアレンジしたりします。海外大学への進学についても、アカデミック・アドバイザーやライティング・チューターがサポートしています。

Q5 成蹊大学以外の大学への推薦は、どのように決まるのでしょうか。

高校3年間の学習および出欠状況に加えて、委員会・クラブ・ボランティアなどの活動実績、資格、各大学学部への志望理由などを、総合的に判断して決定しています。

(7) 入学試験

【中高共通】

Q1 入試当日、自動車、タクシー、自転車での来校は可能ですか。

周辺の交通規制が厳しい地域のため、緊急時を除き自動車、タクシーなどでの来校はご遠慮ください。構内に駐輪場がありますので、自転車で来校した場合は、入構したところで申し出てください。

Q2 筆記試験において科目ごとに合格基準点は設定されていますか。

すべての入試において、科目ごとの合格基準点は設定されていません。基本的に合計点で合否判定を行いますが、極端に悪い得点の科目がある場合には、答案の内容を詳しく検討して合否が決まる場合があります。

Q3 入試の得点は公表してもらえますか。

個人の得点についてはお知らせすることはできません。

【中学】

Q1 入試当日に遅刻をした場合には、どのような扱いになりますか。

第1時限(国語)の開始から15分経過後までは受験が可能ですが、試験時間の延長はしませんので注意してください。ただし、公共交通機関の遅れなどで遅刻した場合は、状況に応じて対処します。

Q2 入試当日、保護者が受験生と連絡をとることはできますか。

一般入試：中高構内には受験生本人しか入構できません。隣接する大学構内に保護者控室を用意しています。試験が終わって受験生が出てくるまで、受験生と保護者が会うことはできません。

国際学級入試・中2帰国生編入試：保護者控室を中高構内の試験場近くに設けます。昼食を受験生と一緒にとることもできますが、筆記試験が全部終わるまで、受験生と保護者が連絡をとることはできません。

Q3 面接はありますか？

国際学級入試と中2帰国生編入試と一般入試(帰国生枠)で実施しています。面接は日本語で、受験生1名に対して面接者2名で行います。特別な知識を問うものではなく、話題は、「最近興味を持ったこと」「小・中学校時代に力を注いだこと」「成蹊を選んだ理由」などです。

【高校】

Q1 入試当日に遅刻をした場合には、どのような扱いになりますか。

遅刻者は原則として入場できませんが、万一、遅刻した場合には、中高正門の係員に事情を説明してください。交通機関の遅延等、場合によっては受験を許可することがあります。

Q2 入試当日、保護者が受験生と連絡をとることはできますか。

一般入試：試験会場となる中高構内には受験生本人しか入構できません。受験生と連絡をとる必要が生じた場合は、中高正門の係員に申し出てください。

推薦入試、帰国生入試および高等学校2年編入試：保護者など付添いは特に必要ありませんが、付添いの方のために控え室を用意しております。受験生と一緒に昼食をとることもできます。

Q3 合否判定はどのように行われますか。

一般入試、帰国生入試、高2編入試ともに、筆記試験・面接・調査書等を総合的に判断したうえ、合否判定を行います。特に学力試験の結果は重視されます。調査書の内容を点数化したり、試験の得点に加えることは行っていません。

Q4 面接はどのように行われますか。

受験生1名に対して面接者2名で行います。特別な知識を問うものではなく、話題は、「最近興味を持ったこと」「中学校時代に力を注いだこと」「成蹊を選んだ理由」などです。また、併願校を聞くことがありますが、これは志願者の動向を調査するためのもので、受験生の合否には全く関係がありません。なお、一般入試、帰国生入試、高等学校編入試では面接前に面接資料として、出身校・生徒会およびクラブ活動・読書・趣味・特技・将来の希望・関心のある事柄などを記入してもらいます。

面接時間は、一般入試は5分程度、推薦入試は15分程度、帰国生入試・高等学校編入試は10分程度です。帰国生入試の面接についても、日本語で行います。



アクセス

アクセス		
JR 中央線・ 総武線	三鷹駅 北裏、武蔵関駅、田無橋場行 北口乗場(関東バス) 「緑町住宅」下車、バス停より徒歩10分	吉祥寺駅 北口1、2番乗場より関東バス ※すべてのバスが停車します 「成蹊学園前」下車、バス停より徒歩8分
	西武 新宿線	西武柳沢駅 吉祥寺駅行 (関東バス) 「成蹊学園前」下車、バス停より徒歩8分
西武 池袋線	保谷駅 吉祥寺駅行 (西武バス) 「慈雲堂前」下車バス停より徒歩10分 吉祥寺駅行 (西武バス) 「武蔵野第四小学校」下車、バス停より徒歩10分	大泉学園駅 吉祥寺駅行 (西武バス) 「武蔵野第四小学校」下車、バス停より徒歩10分



※バスは時間帯によっては本数の少ない場合がありますので、お確かめの上ご利用ください。



アクセスについては
こちらをご覧ください。